

令和6年度 保育園・認定こども園の ICT化に関する調査報告書

令和7年3月

一般社団法人 札幌市私立保育連盟 調査研究部



一般社団法人

札幌市私立保育連盟

目次

はじめに	01
調査概要	02
1 基本集計結果	03
(1) 園の基本的な情報について	03
(2) 保育ICTシステムの導入状況について	03
(3) 登降園時間の打刻機能について	05
(4) 欠席・遅刻の連絡機能について	05
(5) 保護者向け配信機能について	06
(6) 連絡帳機能について	06
(7) 保育日誌・指導計画の作成・管理機能について	07
(8) 請求管理機能について	07
(9) その他の機能について	08
(10) 保育ICTシステムの導入による効果について	08
(11) 保育ICTシステムの利用料金について	11
(12) ICT機器・環境とその費用について	11
(13) 今後のICT化に向けて	13
2 ICT化に関する分析	15
(1) 保育ICTシステムの導入状況と効果	15
(2) ICT機器・環境の現状	25
(3) ICT化のコスト	29
(4) 今後の展望	33
調査票	35

はじめに

情報通信技術の発達に伴い、様々な企業が保育に関するICTのサービスを展開しています。労働者の働き方改革の機運も高まる中、こうしたICTの技術を運営に取り入れ、業務の効率化を図っている施設も多いことと思われます。

今回はこうしたICTのシステムの導入状況や各施設における運用の工夫などを調査しました。また、導入に際して発生する費用面についても調査し、ランニングコストを含めた施設のICT導入にかかるコストや負担感も調査しました。多くの施設で何らかのICTシステムを導入し、業務の効率化を図っていることがわかりました。また、導入後のコストについての設問ではおよそ92%の園が既存の補助金のほかにランニングコストなどを対象とした補助金が必要だと回答しています。ICTシステムを利用するためにはハード、ソフト両面で経費が必要となります。今後は、これらを対象とした補助金の創設を期待したいと思います。

今回の報告書は、例年の単純集計をメインとしたものから、クロス集計などを活用し、考察をメインとしたものに変更しております。他の施設のICTの活用の事例などを参考にいただき、各施設に合ったICTシステムを上手に活用し、子どもと職員のウェルビーイングの実現を目指す一助となれば幸いです。お忙しい中アンケートにご協力いただいた各施設に対しまして御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

調査概要

回答期間

2024年11月 5 日～12月 6 日

調査方法

Web回答、FAX又はメールにて回収

調査対象

札幌市私立保育連盟の正会員、準会員

回答率

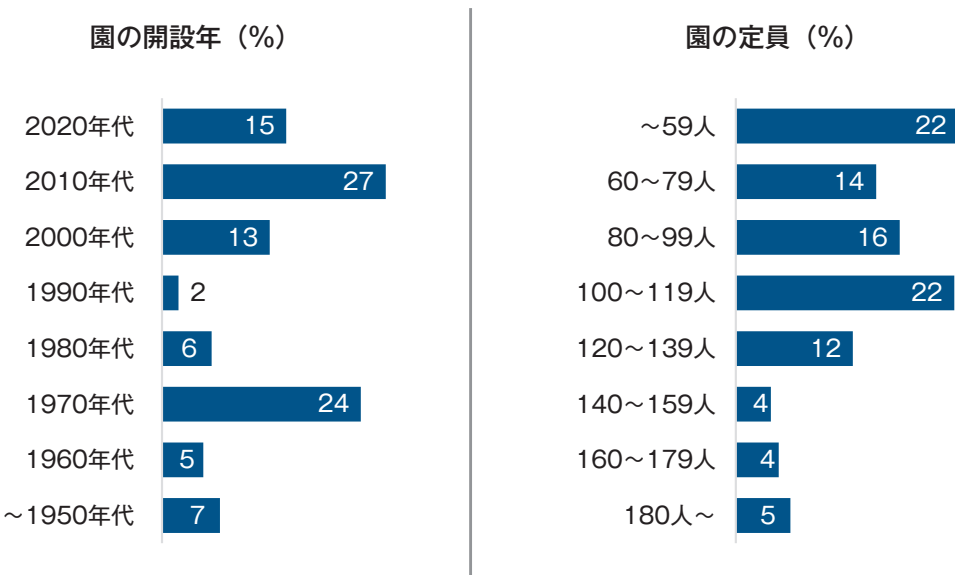
全体：回答率 69.7% (255園/366園)

区別：中央区 74.4% (29園/39園)	北 区 64.6% (42園/65園)
東 区 75.4% (43園/57園)	白石区 65.1% (28園/43園)
厚別区 59.1% (13園/22園)	豊平区 60.5% (23園/38園)
清田区 58.8% (10園/17園)	南 区 80.0% (20園/25園)
西 区 81.1% (30園/37園)	手稲区 73.9% (17園/23園)

注意事項

四捨五入の関係で数値の合計が100%にならないことがあります。

回答園属性



1 基本集計結果

(1) 園の基本的な情報について

問 1 園の所在地を教えてください。

中央区	29
北区	42
東区	43
白石区	28
厚別区	13
豊平区	23
清田区	10
南区	20
西区	30
手稲区	17
回答 255園	

問 2 園の開設年を教えてください。

～1950年代	18
1960年代	13
1970年代	61
1980年代	16
1990年代	6
2000年代	33
2010年代	70
2020年代	38
回答 255園	

問 3 園の定員を教えてください。

60人未満	57
60～80人未満	36
80～100人未満	42
100～120人未満	56
120～140人未満	30
140～160人未満	9
160～180人未満	11
180人以上	14
回答 255園	

(2) 保育ICTシステムの導入状況について

問 4 保育ICTシステムを導入していますか。

はい	210 (82%)
いいえ	45 (18%)
回答 255園	

問 5 保育ICTシステムの導入時期を教えてください。

2009年以前	1
2010～2014年度	8
2015～2019年度	91
2020年度	27
2021年度	22
2022年度	20
2023年度	22
2024年度	14
わからない	5
回答 210園	

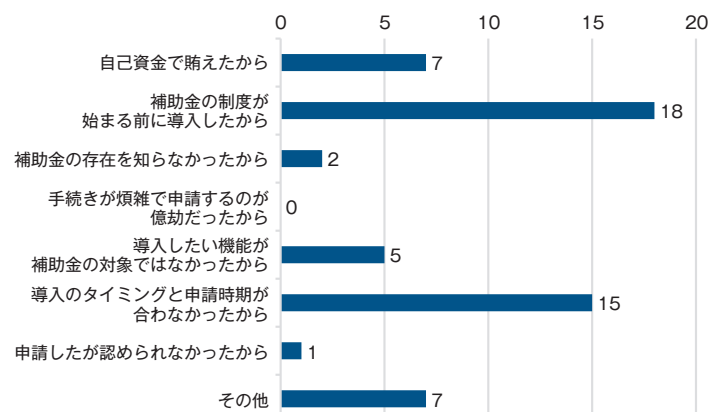
問 6 保育ICTシステムの導入にあたり補助金を利用しましたか。

はい	138 (66%)
いいえ	48 (23%)
わからない	24 (11%)
回答 210園	

問 7 補助金の金額は十分だったと思いますか。

そう思う	201 (79%)
ややそう思う	32 (12%)
どちらともいえない	17 (7%)
あまりそう思わない	4 (2%)
そう思わない	1 (0%)
回答 255園	

問 8 補助金を利用しなかった理由を教えてください。

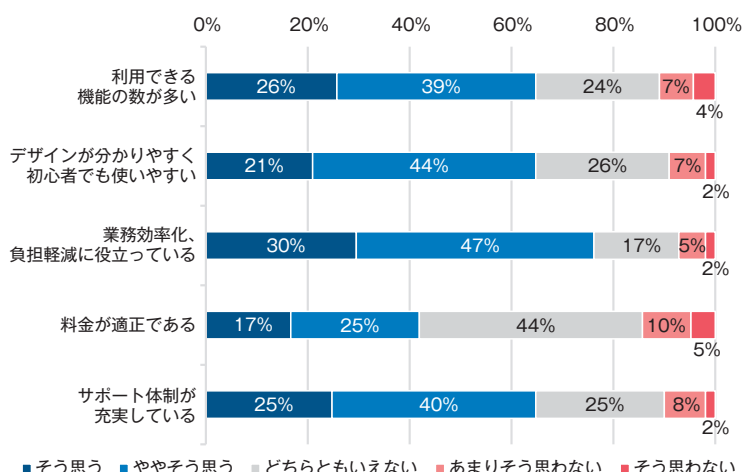


回答 55園

問9 利用している保育ICTシステムの数をお教えてください。

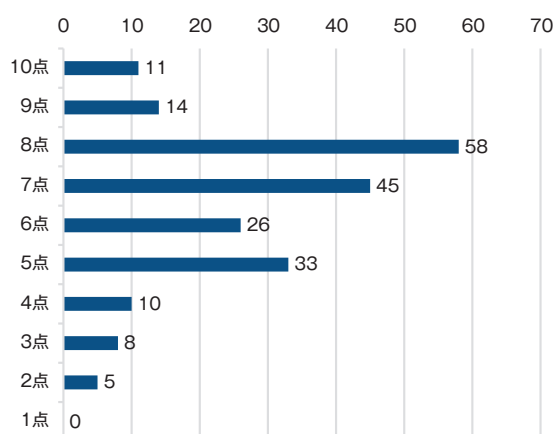
1種類	137 (65%)
2種類	60 (29%)
3種類	8 (4%)
4種類	3 (1%)
5種類	1 (1%)
6種類以上	1 (1%)
回答	210園

問10 メインで利用している保育ICTシステムの評価をお教えてください。



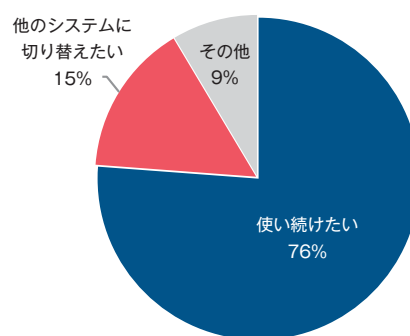
回答 210園

問11 メインで利用している保育ICTシステムに対する総合的な満足度を教えてください。



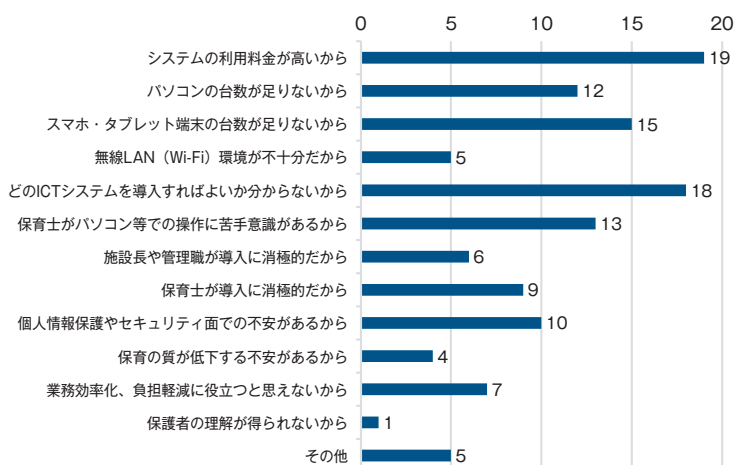
回答 210園

問12 メインで利用している保育ICTシステムを今後も使い続けたいと思いますか。



回答 210園

問13 保育ICTシステムを導入していない理由をお教えてください。



回答 124園

問14 今後保育ICTシステムを導入する予定はありますか。

導入予定あり	7 (16%)
導入検討中	24 (53%)
導入予定なし	14 (31%)
回答	45園

(3) 登降園時間の打刻機能について

問15 登降園時間の打刻機能
を利用していますか。

はい	192 (91%)
いいえ	18 (9%)
回答	210園

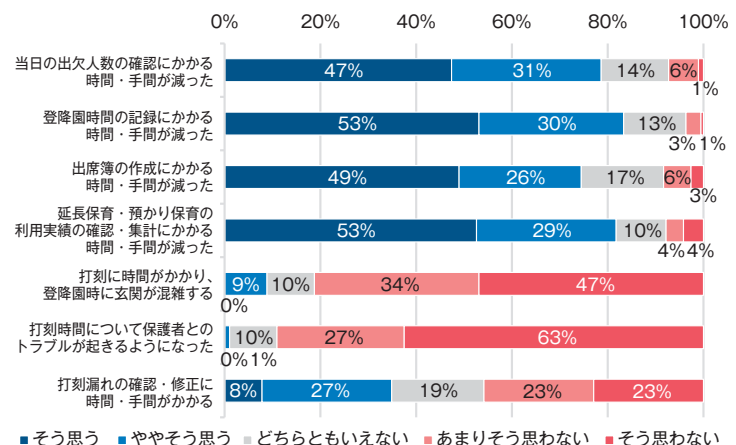
問16 今後、登降園時間の打
刻機能を利用する予定
はありますか。

利用予定あり	2 (11%)
利用検討中	12 (67%)
利用予定なし	4 (22%)
回答	18園

問17 登降園の際の打刻方法
を教えてください。

手動 (タブレット等をタッチ)	112
QRコード/バーコード (紙に印刷)	27
QRコード/バーコード (保護者のスマホに表示)	47
カード (専用のICカード)	68
カード (保護者の電子マネーカード等)	5
カード (玄関ドアのカードキーと連動)	9
その他	9
回答	277園 (複数回答可)

問18 登降園時間の打刻機能の導入によるメリット・デメリット
を教えてください。



回答 192園

(4) 欠席・遅刻の連絡機能について

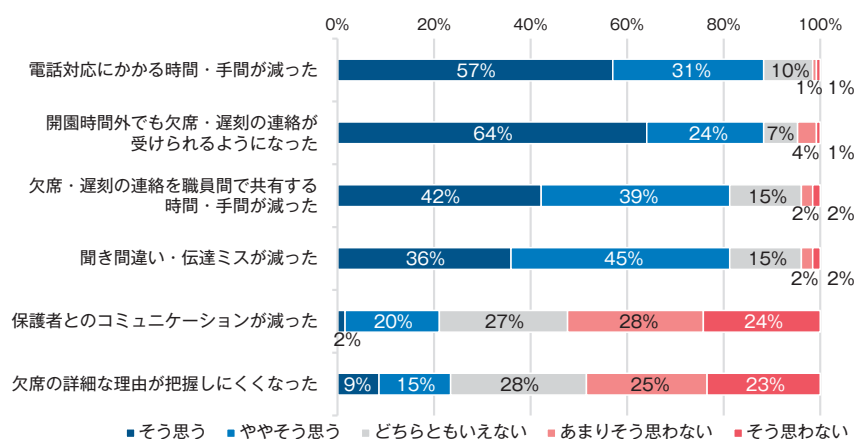
問19 欠席・遅刻の連絡機能
を利用していますか。

はい	128 (61%)
いいえ	82 (39%)
回答	210園

問20 今後、欠席・遅刻の連
絡機能を利用する予定
はありますか。

利用予定あり	12 (15%)
利用検討中	29 (35%)
利用予定なし	41 (50%)
回答	82園

問21 欠席・遅刻の連絡機能の導入によるメリット・デメリットを教えてください。



回答 128園

(5) 保護者向け配信機能について

問22 保護者向け配信機能を利用していますか。

はい	186 (89%)
いいえ	24 (11%)
回答 210園	

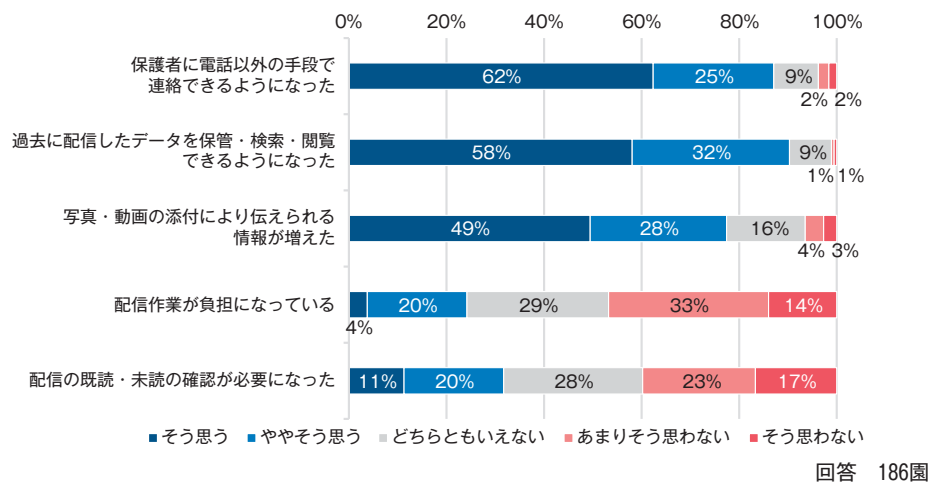
問23 今後、保護者向け配信機能を利用する予定はありますか。

利用予定あり	3 (13%)
利用検討中	13 (54%)
利用予定なし	8 (33%)
回答 24園	

問24 おたよりの主な配布・配信方法を教えてください。

紙のみ	13 (7%)
データ配信のみ	60 (32%)
紙とデータ配信の両方	100 (54%)
その他	13 (7%)
回答 186園	

問25 保護者向け配信機能の導入によるメリット・デメリットを教えてください。



(6) 連絡帳機能について

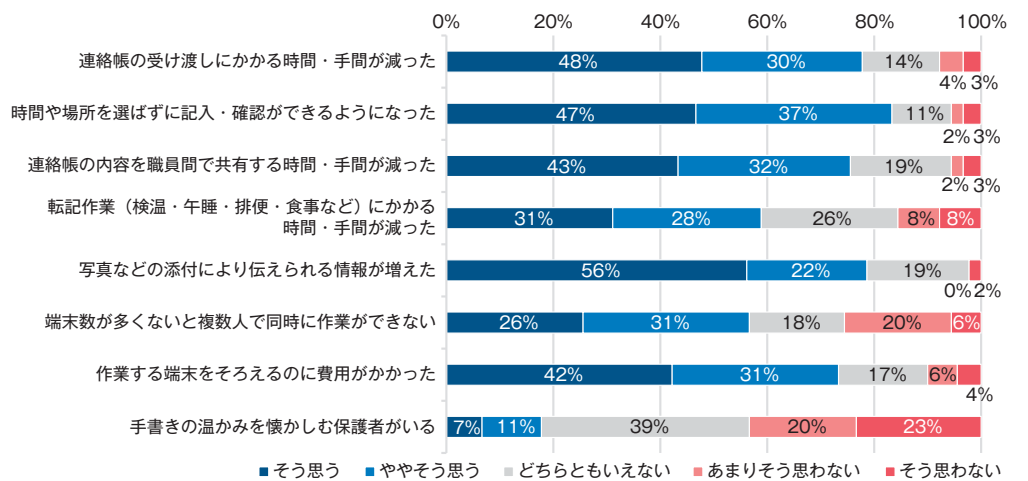
問26 連絡帳機能を利用していますか。

はい	90 (43%)
いいえ	120 (57%)
回答 210園	

問27 今後、連絡帳機能を利用する予定はありますか。

利用予定あり	9 (7%)
利用検討中	51 (43%)
利用予定なし	60 (50%)
回答 120園	

問28 連絡帳機能の導入によるメリット・デメリットを教えてください。



(7) 保育日誌・指導計画の作成・管理機能について

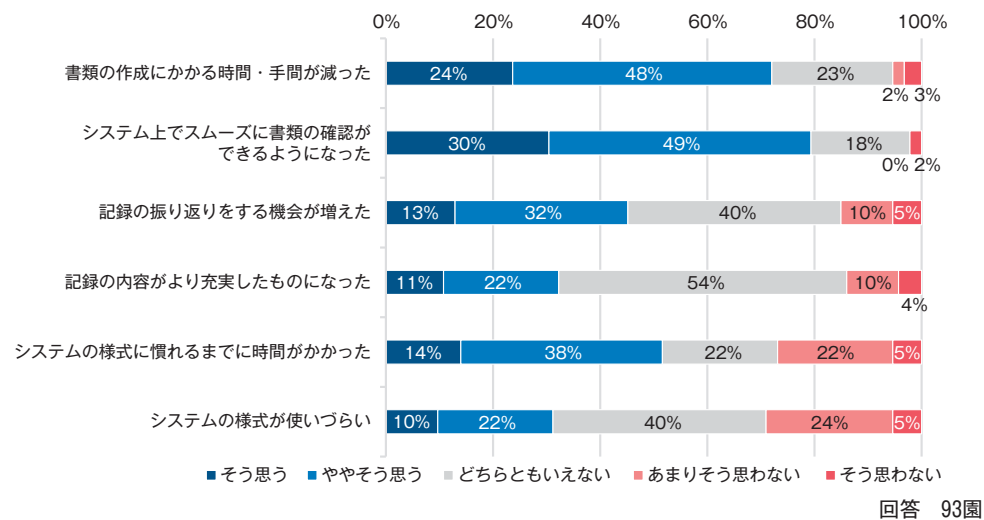
問29 保育日誌・指導計画の作成・管理機能を利用していますか。

はい	93 (44%)
いいえ	117 (56%)
回答	210園

問30 今後、保育日誌・指導計画の作成・管理機能を利用する予定はありますか。

利用予定あり	2 (2%)
利用検討中	58 (49%)
利用予定なし	57 (49%)
回答	117園

問31 保育日誌・指導計画の作成・管理機能の導入によるメリット・デメリットを教えてください。



(8) 請求管理機能について

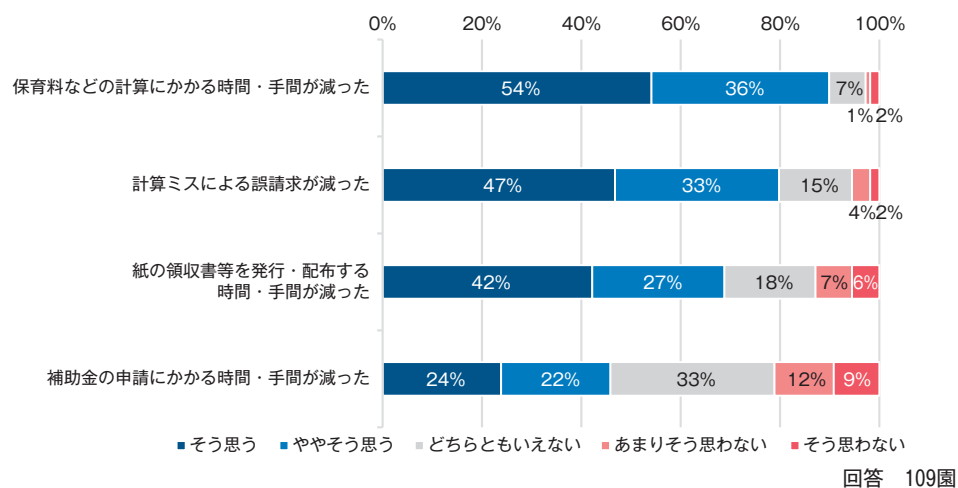
問32 請求管理機能を利用していますか。

はい	109 (52%)
いいえ	101 (48%)
回答	210園

問33 今後、請求管理機能を利用する予定はありますか。

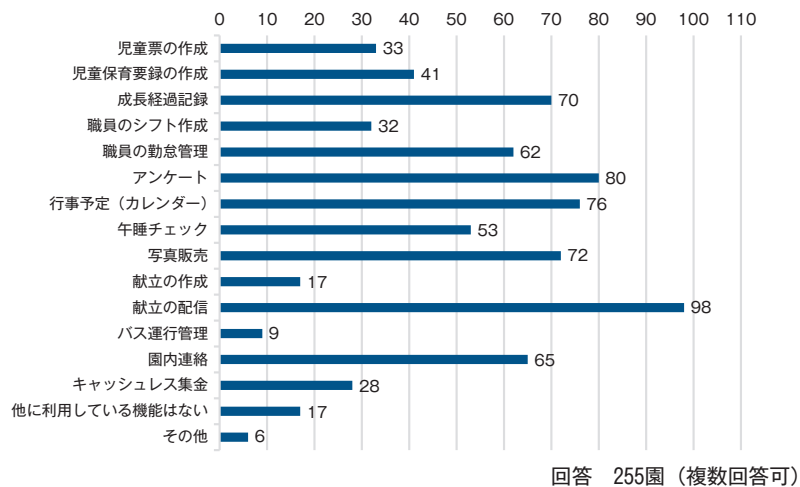
利用予定あり	3 (3%)
利用検討中	43 (43%)
利用予定なし	55 (54%)
回答	101園

問34 請求管理機能の導入によるメリットを教えてください。



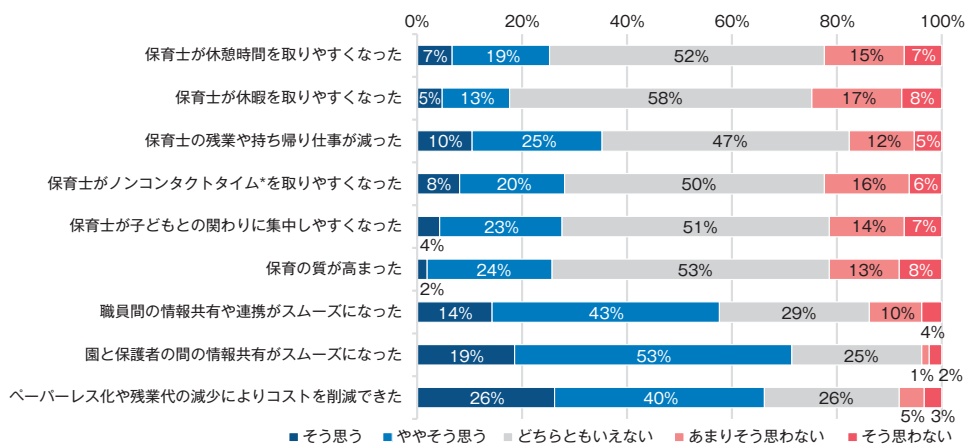
(9) その他の機能について

問35 その他に利用している機能を教えてください。

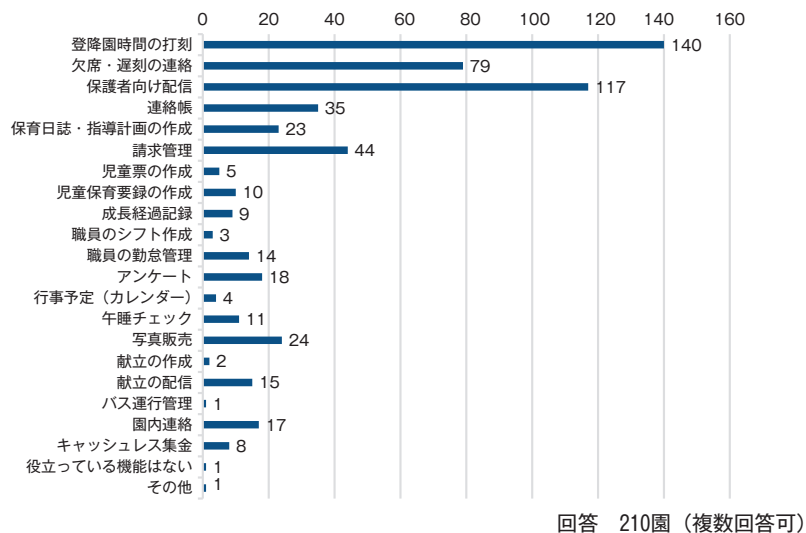


(10) 保育ICTシステムの導入による効果について

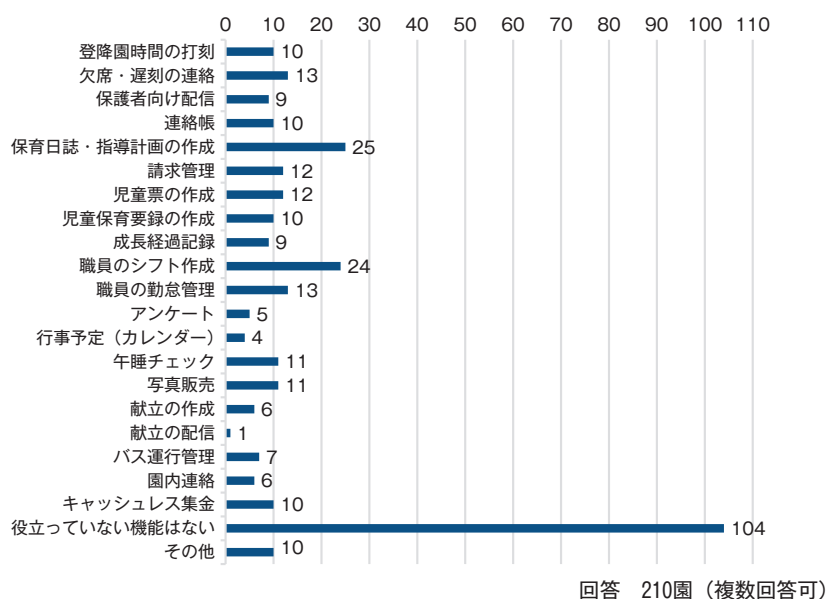
問36 保育ICTシステムの導入による効果を教えてください。



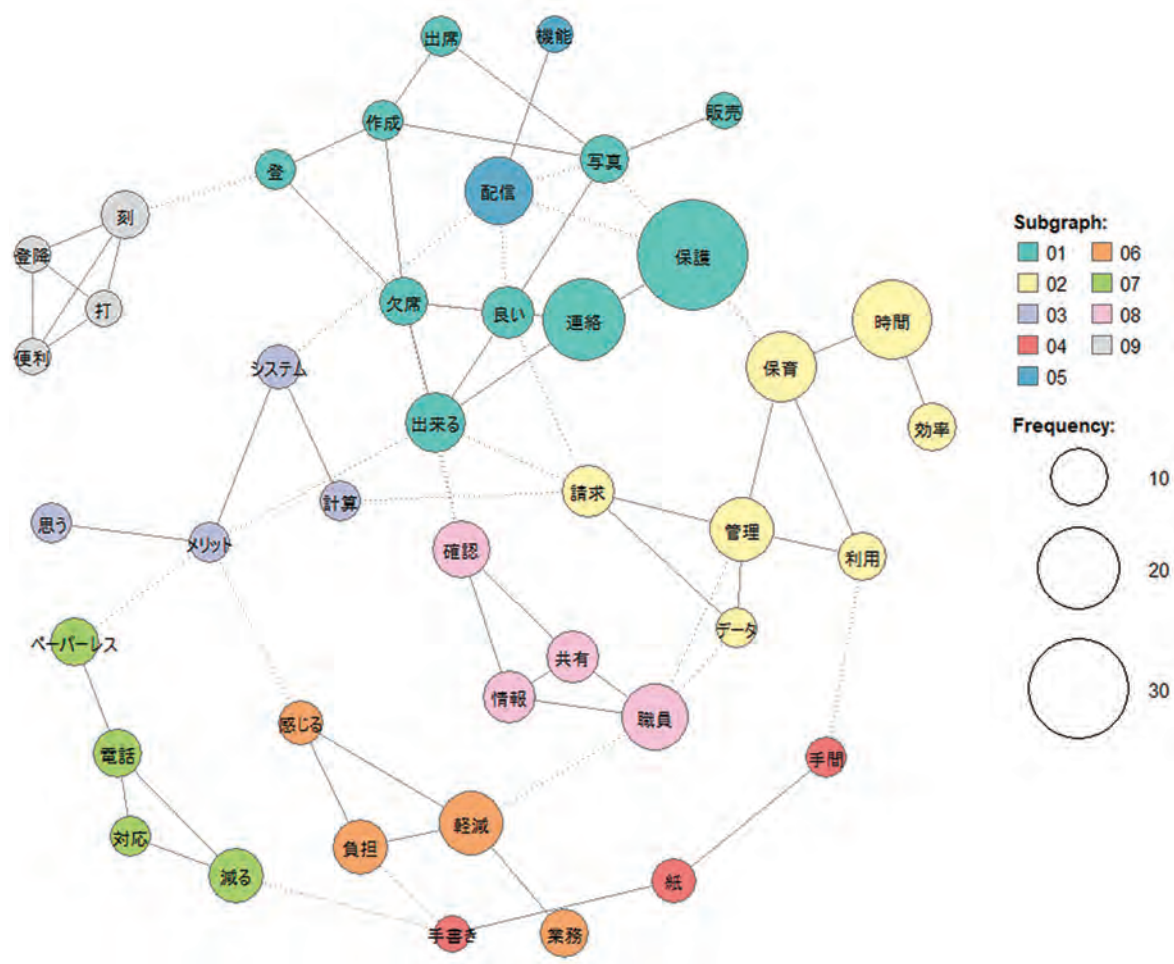
問37 現在利用している機能の中で業務効率化、負担軽減に役立っていると思われる機能を教えてください。(最大3つまで選択)



問38 現在利用している機能の中で業務効率化、負担軽減に役立っていないと思われる機能を教えてください。(最大3つまで選択)

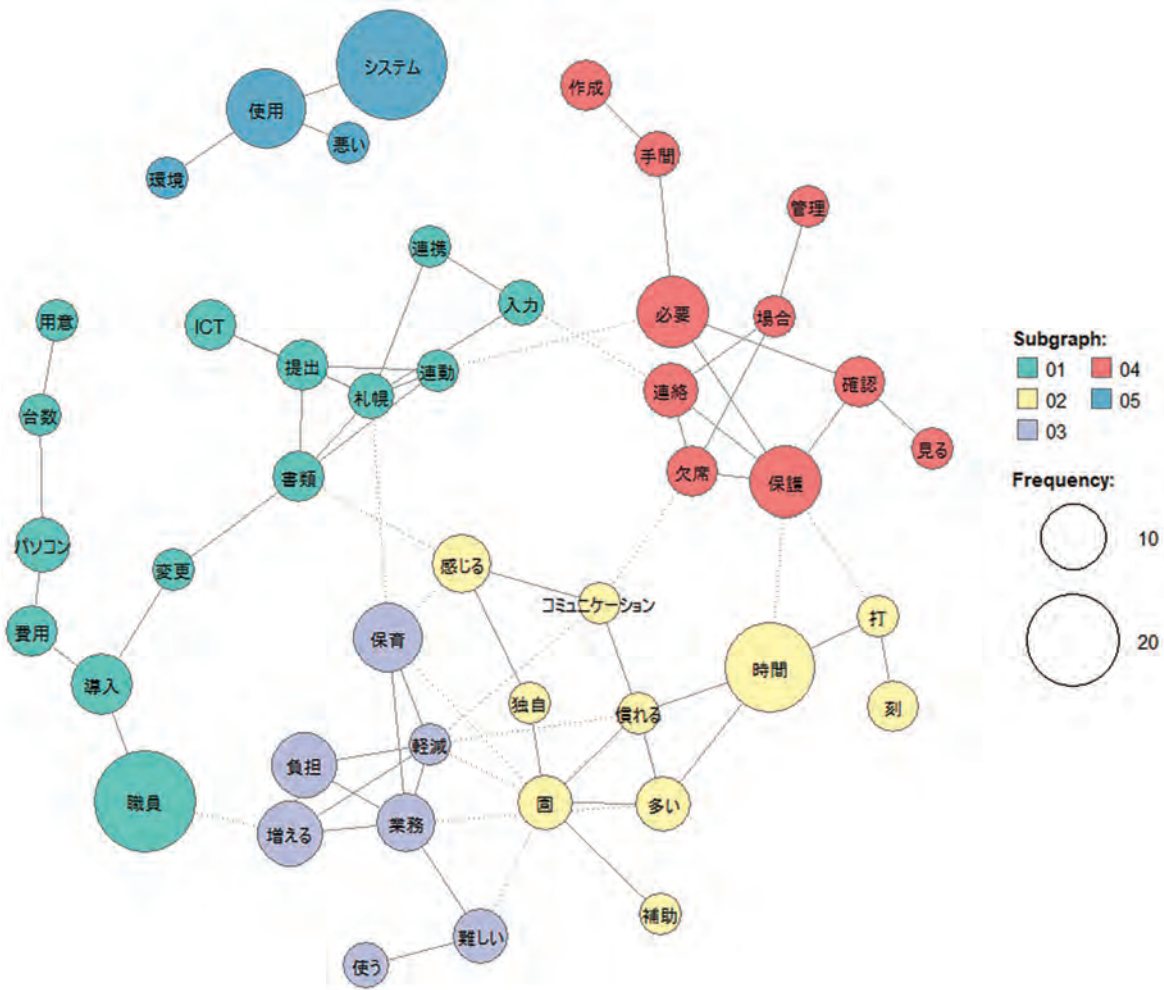


問39 保育ICTシステムについて特に良いと思うところや、メリットとを感じる点があれば教えてください。



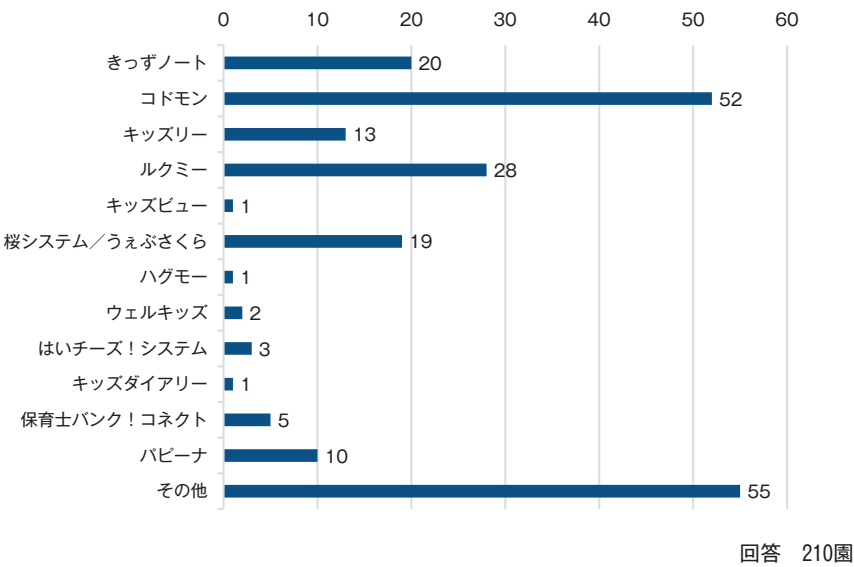
※テキストマイニングの抽出語の共起ネットワーク作図にはKH Coderを使用。

問40 保育ICTシステムについて不満なところや、デメリットと感じる点があれば教えてください。



※テキストマイニングの抽出語の共起ネットワーク作図にはKH Coderを使用。

問41 メインで利用している保育ICTシステムを教えてください。



(11) 保育ICTシステムの利用料金について

問42 保育ICTシステムの1ヶ月あたりの利用料金を教えてください。

1万円未満	45
1万円～2万円未満	64
2万円～3万円未満	40
3万円～4万円未満	34
4万円～5万円未満	12
5万円～6万円未満	7
6万円～7万円未満	3
7万円～8万円未満	3
8万円～9万円未満	1
9万円～10万円未満	1
10万円以上	0
回答 210園	

問43 保育ICTシステムの利用料金を保護者から徴収していますか。

はい	10 (5%)
いいえ	197 (94%)
その他	3 (1%)
回答 210園	

(12) ICT機器・環境とその費用について

問44 保育士が使用するパソコンの整備状況（1クラスに何台か）を教えてください。

1クラスに1台未満	91
1クラスに1台	112
1クラスに2～3台	41
1クラスに4～5台	1
1クラスに6～7台	0
1クラスに8～9台	0
1クラスに10台以上	0
パソコンはない	10
回答 255園	

問45 保育士が使用するパソコンの整備状況（保育士何人に1台か）を教えてください。

1人に1台	23
2～3人に1台	140
4～5人に1台	54
6～7人に1台	15
8～9人に1台	5
10～14人に1台	8
15～19人に1台	0
20人以上に1台	0
回答 245園	

問46 保育士が使用するパソコンの年間のランニングコスト（維持管理・買替費用）を教えてください。

10万円未満	103
10万円～20万円未満	68
20万円～30万円未満	44
30万円～40万円未満	16
40万円～50万円未満	5
50万円～60万円未満	2
60万円～70万円未満	3
70万円～80万円未満	2
80万円～90万円未満	2
90万円～100万円未満	0
100万円以上	0
回答 245園	

問47 保育士が使用するスマホ・タブレット端末の年間の整備状況（1クラスに何台か）を教えてください。

1クラスに1台未満	72
1クラスに1台	119
1クラスに2～3台	26
1クラスに4～5台	1
1クラスに6～7台	0
1クラスに8～9台	0
1クラスに10台以上	0
スマホ・タブレット端末はない	37
回答 255園	

問48 保育士が使用するスマホ・タブレット端末の整備状況（保育士何人に1台か）を教えてください。

1人に1台	26
2～3人に1台	108
4～5人に1台	54
6～7人に1台	6
8～9人に1台	8
10～14人に1台	5
15～19人に1台	3
20人以上に1台	8
回答 218園	

問49 保育士が使用するスマホ・タブレット端末の年間のランニングコスト（維持管理・買替費用）を教えてください。

10万円未満	109
10万円～20万円未満	64
20万円～30万円未満	25
30万円～40万円未満	11
40万円～50万円未満	6
50万円～60万円未満	2
60万円～70万円未満	1
70万円～80万円未満	0
80万円～90万円未満	0
90万円～100万円未満	0
100万円以上	0
回答 218園	

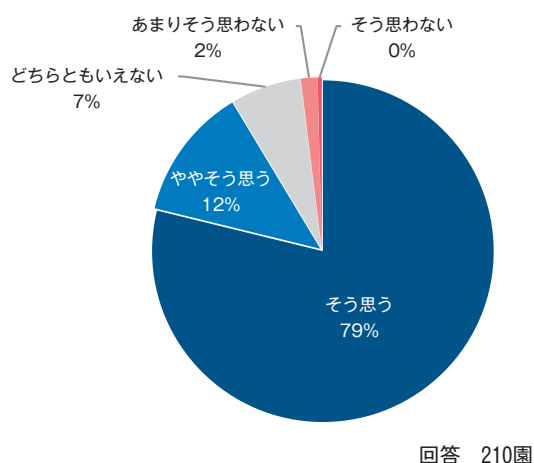
問50 無線LAN（Wi-Fi）の使用可能エリアを教えてください。

全てのエリアで使用可能	119（47%）
ほぼ全てのエリアで使用可能	92（36%）
一部のエリアのみで使用可能	36（14%）
無線LAN（Wi-Fi）は導入していない	8（3%）
回答 255園	

問51 無線LAN（Wi-Fi）環境の整備費用（これまでの累積額）を教えてください。

20万円未満	102
20万円～40万円未満	61
40万円～60万円未満	28
60万円～80万円未満	13
80万円～100万円未満	17
100万円～120万円未満	11
120万円～140万円未満	4
140万円～160万円未満	1
160万円～180万円未満	2
180万円～200万円未満	0
200万円以上	8
回答 247園	

問52 既存の保育ICT補助金とは別に、ランニングコストなどを対象とした補助金が必要だと思いますか。



問53 利用している情報セキュリティ製品・サービスを教えてください。

ウイルス対策ソフト	178
フィルタリングソフト	28
ファイアーウォール・UTM	64
利用していない	8
わからない	56
その他	6
回答 255園（複数回答可）	

問54 主に利用している職員
間連絡の方法を教えてください。

LINE	113
LINE WORKS	22
Microsoft Teams	6
Chatwork	3
Slack	5
電話	71
メール	17
その他	18
回答 255園	

問55 主に利用しているデータ保存・
共有の方法を教えてください。

クラウド（オンラインストレージ）	60
サーバー（社内・レンタル含む）	54
NAS（ネットワークHDD）	45
USBメモリ	75
わからない	17
その他	4
回答 255園	

問56 業務でチャットGPT
などの生成AIを活用
していますか。

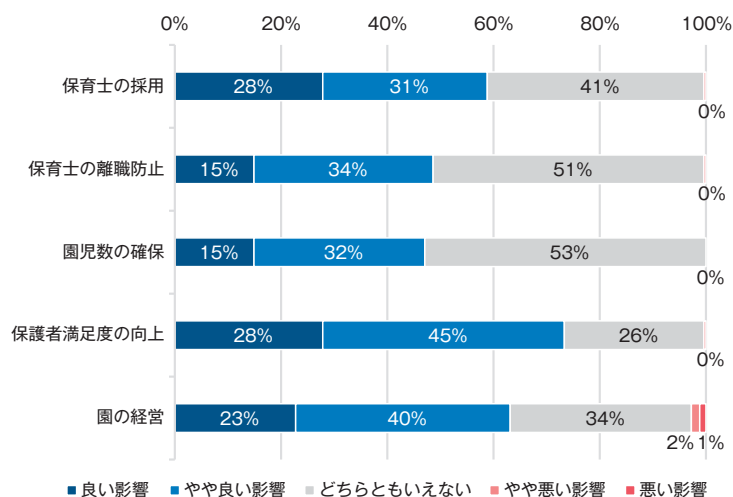
活用している	15（6%）
活用検討中	23（9%）
活用していない	197（77%）
わからない	20（8%）
回答 255園	

(13) 今後のICT化に向けて

問57 今後、ICT化を進める
ことは重要だと思いますか。

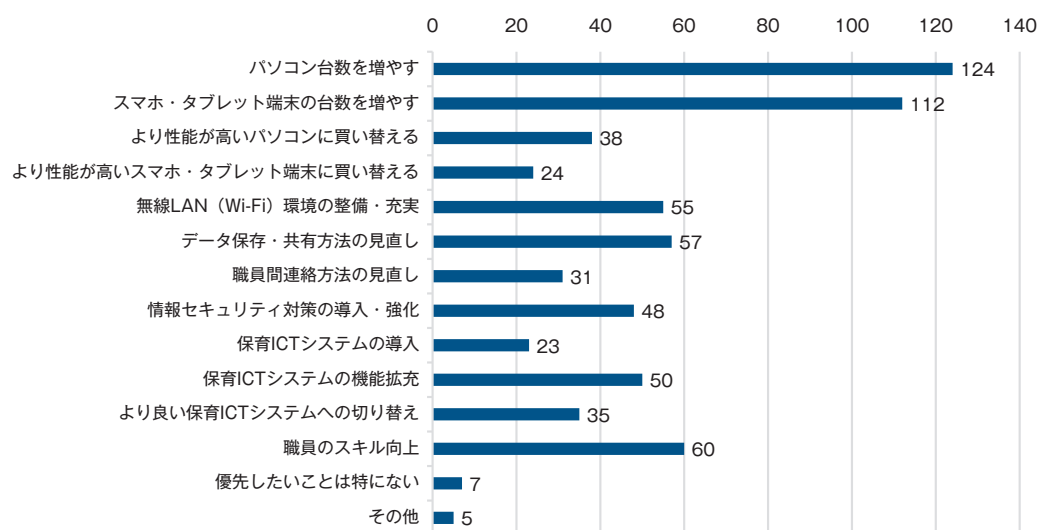
そう思う	158（62%）
ややそう思う	65（26%）
どちらともいえない	29（11%）
あまりそう思わない	2（1%）
そう思わない	1（0%）
回答 255園	

問58 ICT化を進めることによりどんな影響があると思いますか。



回答 255園

問59 今後、ICT化を進めるうえで、優先したいことは何ですか。（最大3つまで選択）



回答 255園（複数回答可）

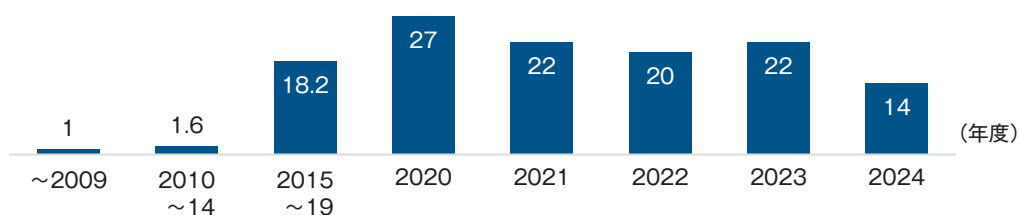
2 ICT化に関する分析

(1) 保育ICTシステムの導入状況と効果

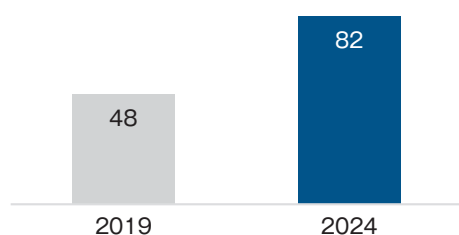
導入が進む保育ICTシステム

近年、保育ICTシステムは年間約20園のペースで新規導入が進んでいる（図表1）。導入園の割合は82%に達しており、2019年度の48%から5年間で34ポイント増加した（図表2）。さらに、未導入園のうち、69%が「導入予定あり」または「導入検討中」と回答しており、今後も導入の拡大が見込まれる（図表3）。一方で、未導入の理由としては、資金や設備などのハード面の課題に加え、職員の苦手意識や消極的な姿勢といったソフト面の問題も挙げられている（図表4）。また、多くの種類のシステムが利用されていることもわかった（図表5）。

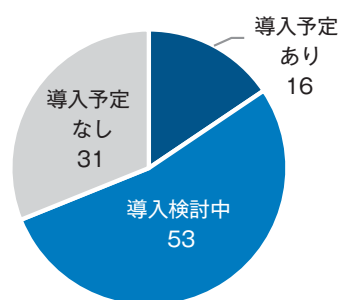
図表1 保育ICTシステムの新規導入園数（2010～14及び2015～19は年平均）
（210園、ただし導入時期不明園を除く、問5）



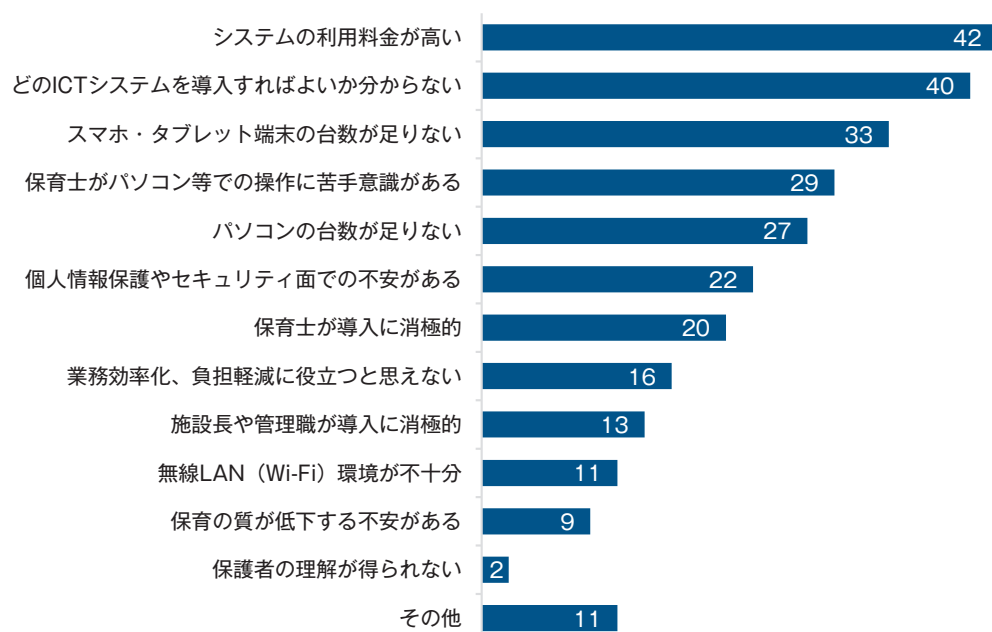
図表2 保育ICTシステムの導入割合（%）
（255園、問2・5）



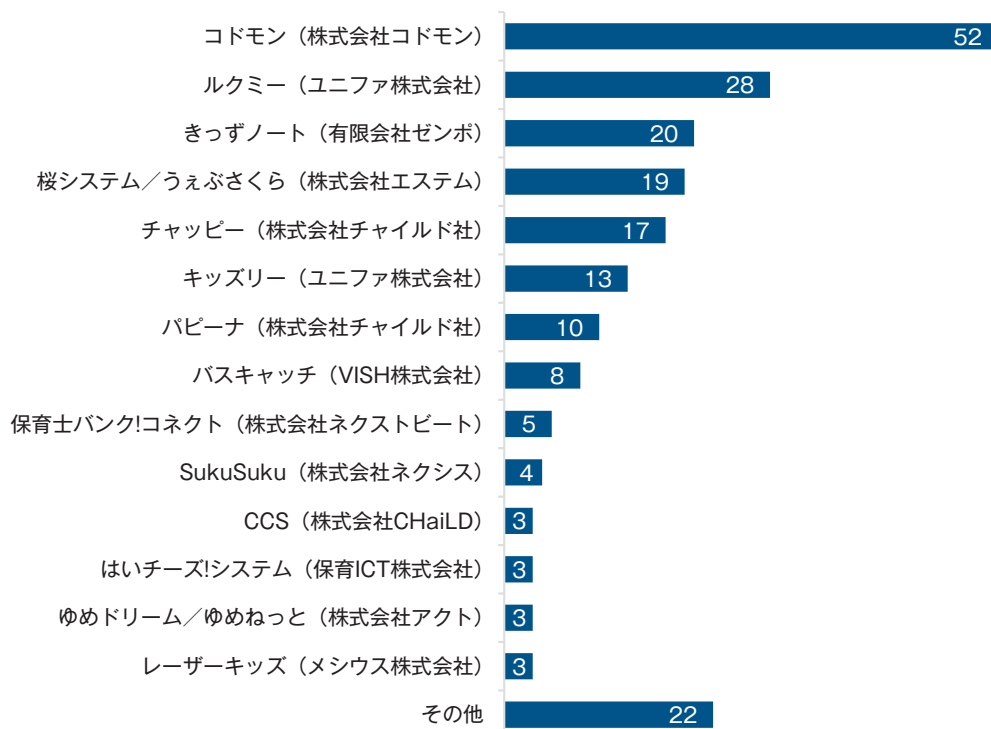
図表3 未導入園の今後の導入意向（%）
（45園、問14）



図表 4 保育ICTシステムを導入していない理由 (%)
(45園、複数回答、問13)



図表 5 メインで利用している保育ICTシステム (園)
(210園、利用園数が2以下のシステムはその他に含む、問41)



どの機能が利用されているのか

「登降園時間の打刻」と「保護者向け配信」の2つの機能は、利用率が約9割に達しており、ほぼ全ての園で活用されている（図表6左）。全体的な傾向として、保護者と直接関係する機能の利用率が高い一方で、園内での書類作成や労務管理に関連する機能の利用率はそれほど高くない状況にある。キャッシュレス集金の利用率は13%と低い水準にとどまっているものの、「キャッシュレス決済に関する機能」が補助金の対象に追加されたことにより、今後普及が進む可能性がある。

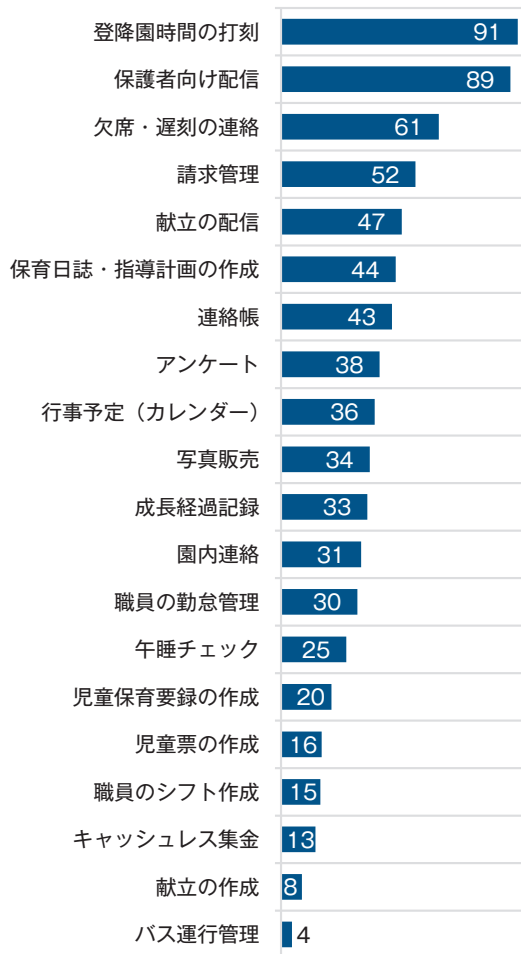
利用している機能について、業務効率化や負担軽減の観点から役に立っているものとそうでないものをそれぞれ最大3つ選んでもらった結果、利用率の高い「登降園時間の打刻」と「保護者向け配信」は役に立っていると評価される割合が高く、役に立っていないと答えた割合は低かった（図表6右）。一方で、保育日誌・指導計画の作成のように利用率が高いものの役立っていないと答えた割合が高い機能もあった。

また、「登降園時間の打刻」「欠席・遅刻の連絡」「保護者向け配信」「連絡帳」「保育日誌・指導計画の作成」「請求管理」の6つの機能について、今後の利用意向を調査した（図表7）。「請求管理」「保育日誌・指導計画の作成」「連絡帳」機能は現在の利用率が約5割程度にとどまっているが、「導入予定あり」または「導入検討中」と回答した園がいずれも2割以上存在しており、これらの機能の利用率は将来的に7割程度まで上昇する可能性がある。

図表6 保育ICTシステムの各機能の比較

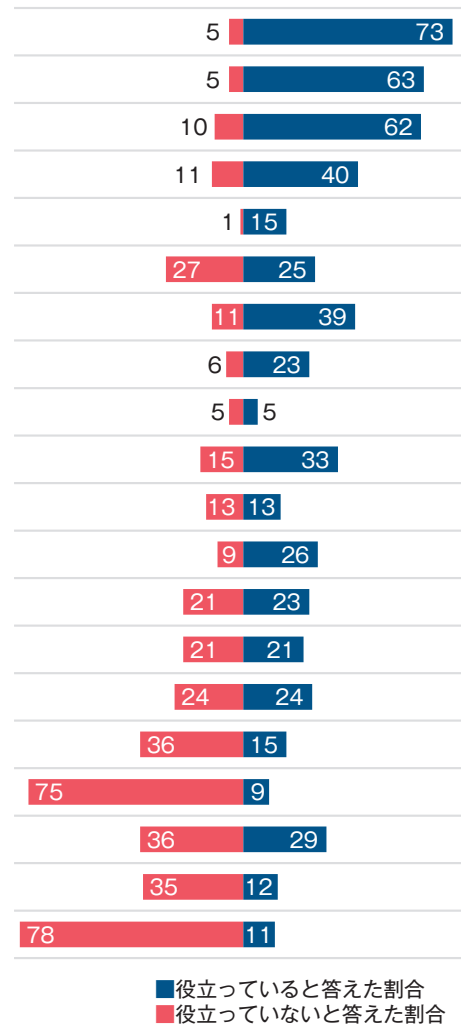
各機能の利用率 (%)

(210園、問15・19・22・26・29・32・35)



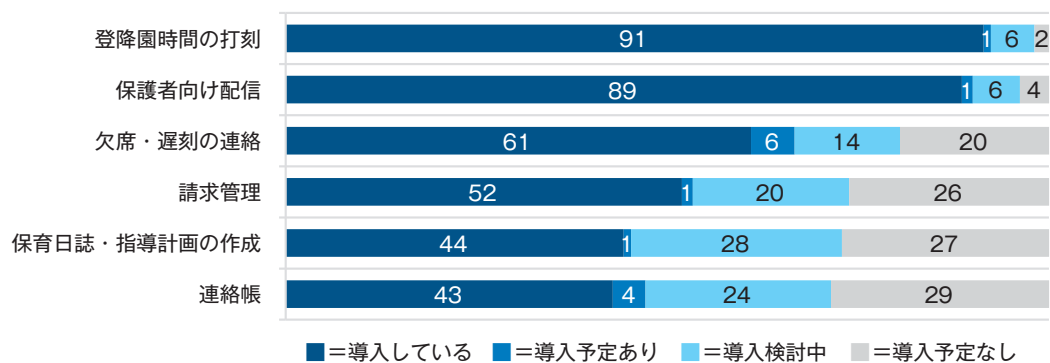
業務効率化、負担軽減に役立っている/役立っていないと答えた割合 (%)

(各機能の利用園、各3つまで選択、問37・38)



図表7 主要6機能の利用割合と今後の利用意向 (%)

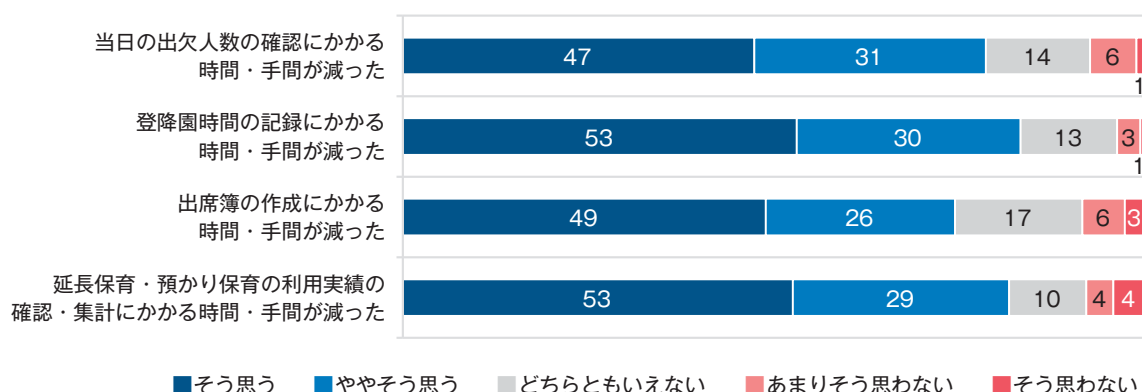
(210園、問15・16・19・20・22・23・26・27・29・30・32・33)



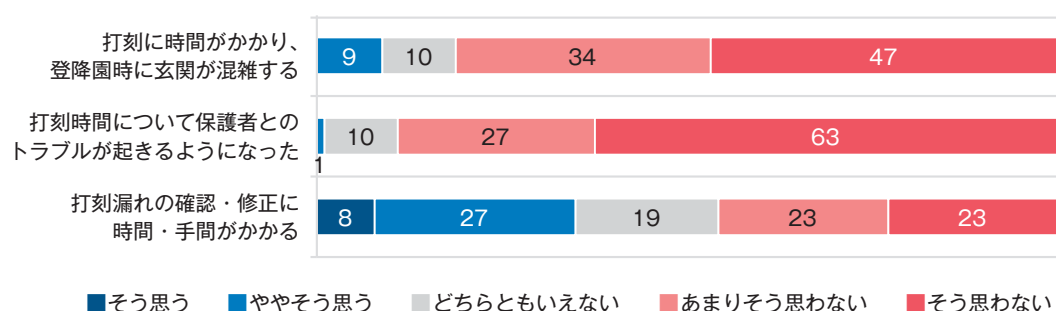
「登降園時間の打刻」機能のメリット・デメリット

関連業務の時間・手間が削減されたという園が多い（図表8）。打刻による玄関の混雑や、打刻時間をめぐる保護者とのトラブルはほとんど見られない（図表9）。一方で、打刻漏れへの対応に時間・手間がかかるという園は一定数あった。登降園時の打刻方法としては、保護者がタブレットなどを手動でタッチする方式が最も多く採用されている（図表10）。また、複数の打刻方法を併用している園は全体の約3分の1で、手動打刻と他の方法を組み合わせるパターンが多かった。

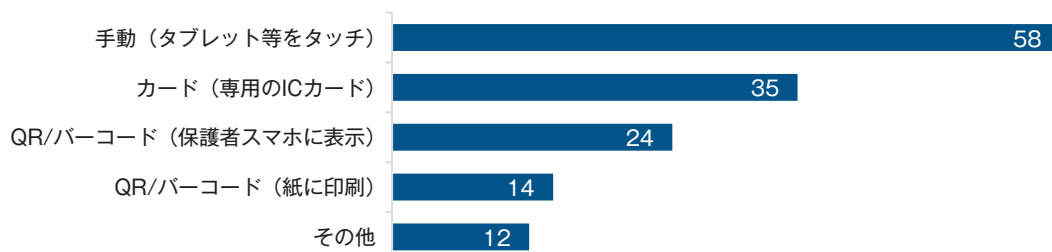
図表8 「登降園時間の打刻」機能のメリット（%）
（192園、問18）



図表9 「登降園時間の打刻」機能のデメリット（%）
（192園、問18）



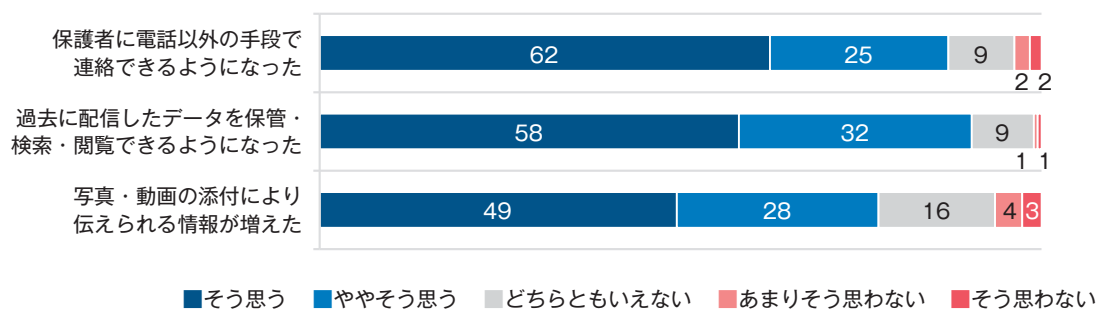
図表10 登降園時の打刻方法（%）
（192園、複数回答、問17）



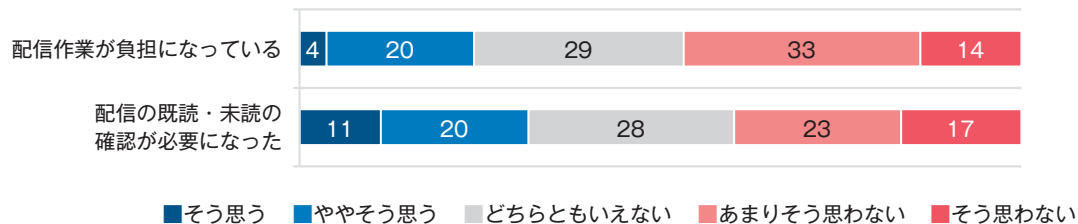
「保護者向け配信」機能のメリット・デメリット

連絡手段の多様化や、保護者に伝えられる情報量が増えたと感じている園が多い（図表11）。その反面、配信作業を負担に感じている園も一部ある（図表12）。保護者向けのおたよりでデータ配信を利用している割合は8割強に達しているが、データ配信のみの割合は全体の32%にとどまり、半数以上が紙とデータの両方でおたよりを配布・配信している（図表13）。

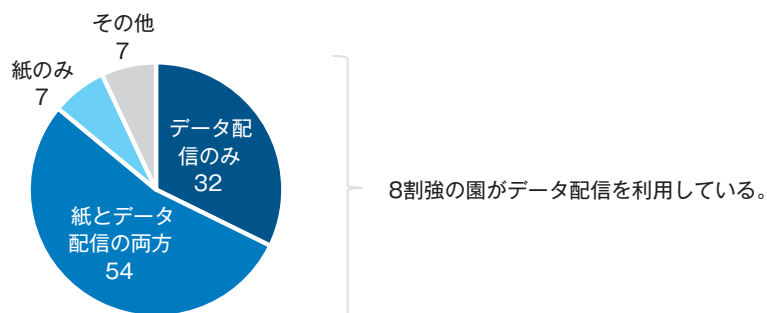
図表11 「保護者向け配信」機能のメリット（%）
（186園、問25）



図表12 「保護者向け配信」機能のデメリット（%）
（186園、問25）



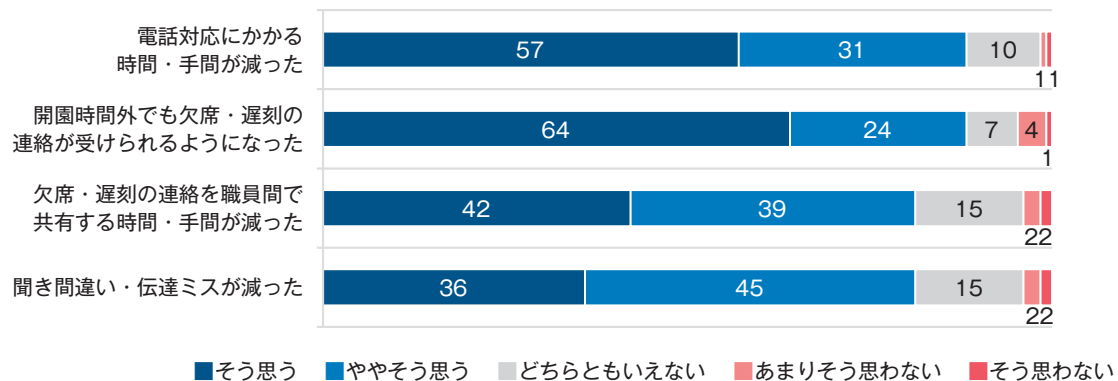
図表13 おたよりの主な配布・配信方法（%）
（186園、問24）



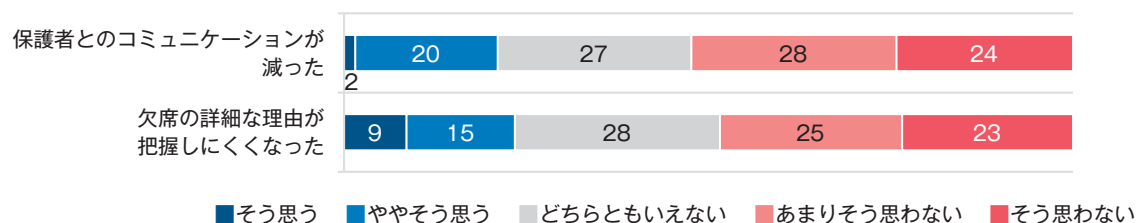
「欠席・遅刻の連絡」機能のメリット・デメリット

電話対応や連絡内容の職員間共有にかかる時間や手間が減少したと感じる園が多い（図表14）。電話連絡がアプリなどによる連絡手段に置き換わることにより、保護者とのコミュニケーションが減少することが懸念されるが、実際にそうした影響を感じている園は一部にとどまった（図表15）。

図表14 「欠席・遅刻の連絡」機能のメリット（%）
（128園、問21）



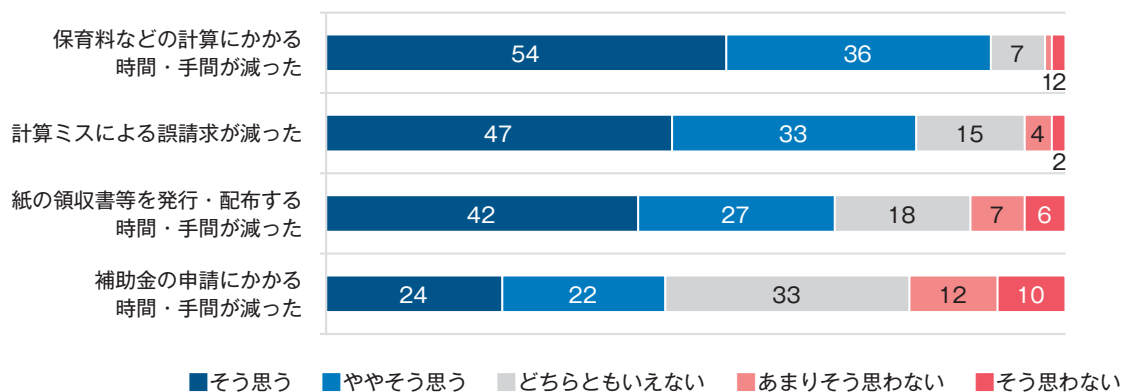
図表15 「欠席・遅刻の連絡」機能のデメリット（%）
（128園、問21）



「請求管理」機能のメリット・デメリット

保育料計算における負担軽減やミスの削減を実感している園が多い（図表16）。また、紙の領収書などの発行や配布にかかる負担についても、7割弱の園が軽減を感じている。しかし、一部の園では、システム上で保護者に請求明細を通知する機能がない、もしくはシステム上での通知とは別に紙の領収書も配布しているため、完全な負担軽減には至っていないと考えられる。

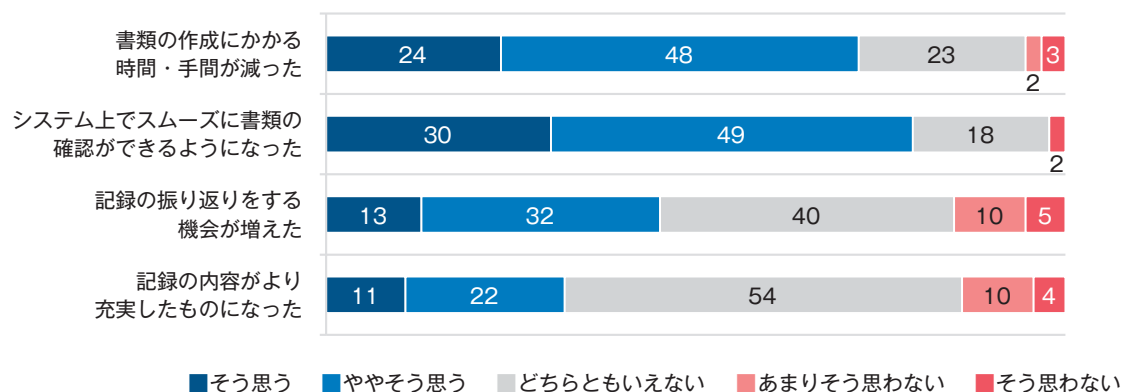
図表16 「請求管理」機能のメリット (%)
(109園、問34)



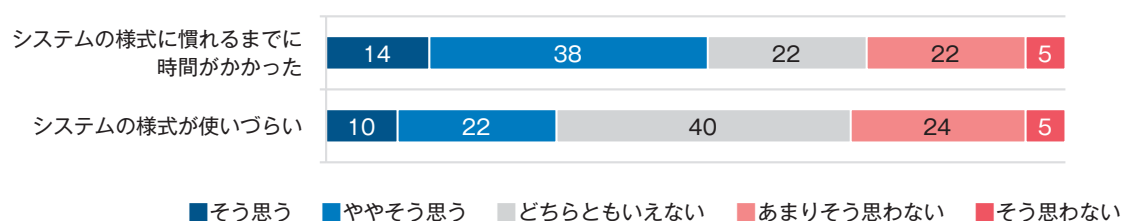
「保育日誌・指導計画」機能のメリット・デメリット

書類作成の負担軽減を感じている園は7割以上にのぼる（図表17）。しかし、記録の振り返りや内容の充実に至っている園は限定的である（図表18）。システムに合わせるために記入項目が増え、かえって負担が増加したという声も聞かれた。

図表17 「保育日誌・指導計画の作成」機能のメリット (%)
(93園、問31)



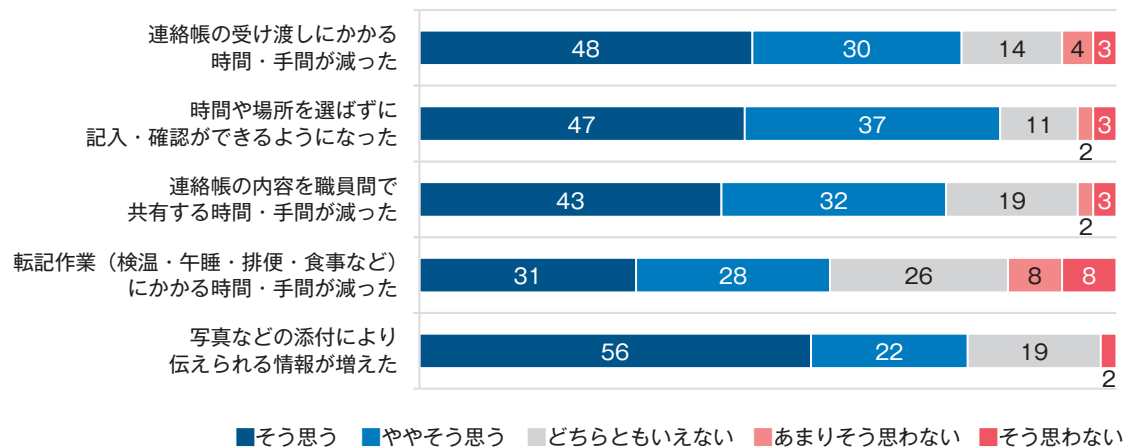
図表18 「保育日誌・指導計画の作成」機能のデメリット (%)
(93園、問31)



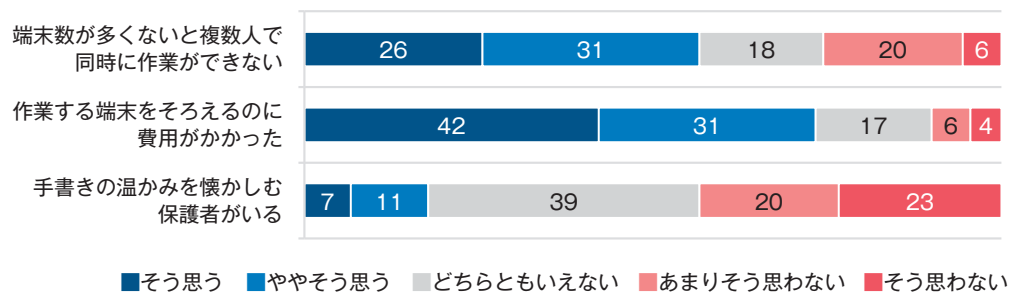
「連絡帳」機能のメリット・デメリット

連絡帳の受け渡しがなくなり、関連業務の負担が減り、保護者に伝えられる情報量が増えたと感じている園が多い（図表19）。一方で、複数人で分担して連絡帳を記入するには一定の端末数が必要となり、費用負担が発生する（図表20）。

図表19 「連絡帳」機能のメリット（%）
（90園、問28）



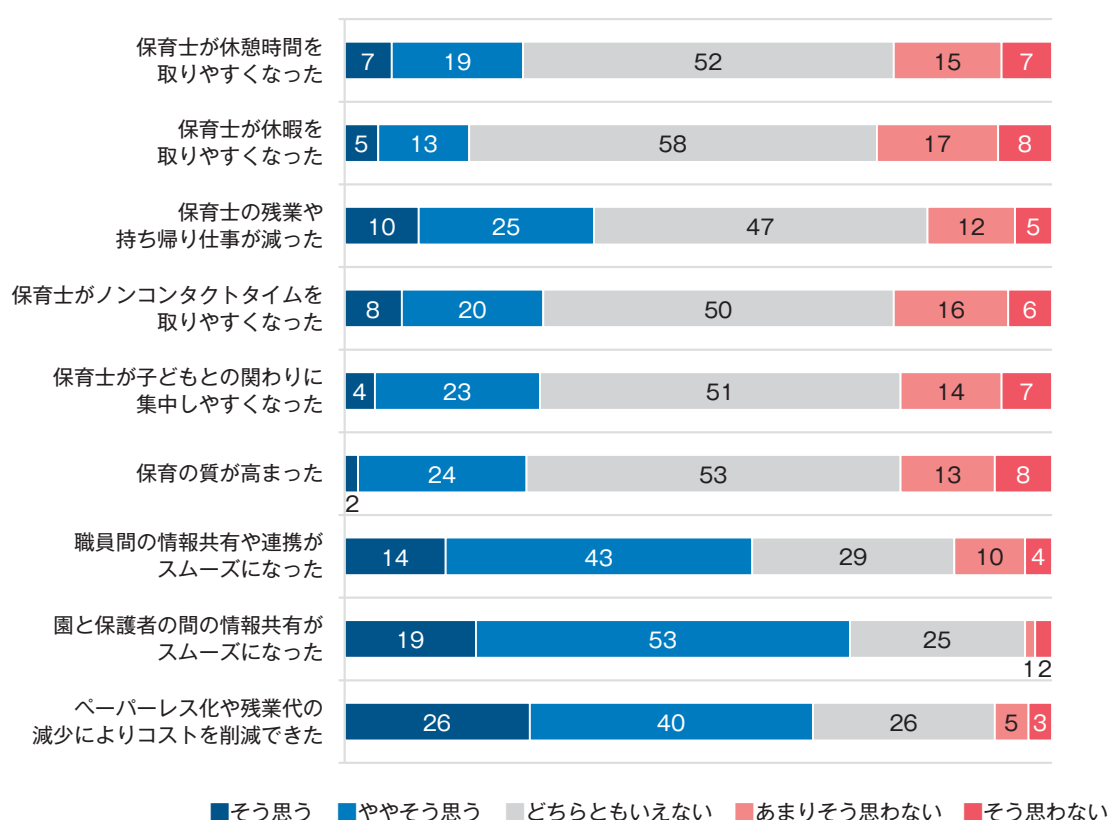
図表20 「連絡帳」機能のデメリット（%）
（90園、問28）



保育ICTシステムの導入による効果

保育ICTシステムの導入により、多くの園で職員間および園と保護者の間の情報共有がスムーズになったと感じられており、コスト削減にも一定の効果が認められる（図表21）。一方で、休憩時間や休暇の取りやすさに関して変化を実感している園は限定的である。加えて、情報共有やコスト削減以外の項目については「どちらともいえない」とする回答が多く、業務時間の削減や保育の質向上といった点については、全く効果がないとは断言できないものの、現時点では目に見える成果が十分に得られているとはいえない状況である。

図表21 保育ICTシステムの導入による効果（%）
（210園、問36）



(2) ICT機器・環境の現状

ICT機器の整備状況

保育士が使用するパソコンの整備状況は「1クラスあたり1台」「保育士2～3人につき1台」が最も多く、96%の園でパソコンが導入されている（図表22）。一方、保育士が使用するスマホ・タブレット端末も「1クラスあたり1台」「保育士2～3人につき1台」が多いものの、それらの端末を導入している園は全体の85%にとどまり、パソコンと比べると普及率はやや低い状況である（図表23）。

パソコン台数とスマホ・タブレット端末台数の関係では、パソコン台数が多い園ほどスマホ・タブレット端末の台数も多い傾向が見られる。このことから、スマホ・タブレット端末がパソコンの代替として利用されているわけではなく、ICT化を進める過程で、両者が相互に補完し合う役割を果たしていることが示唆される（図表24）。

図表22 保育士が使用するパソコン台数（%）
（255園、問44・45）

		保育士何人につき1台のパソコンがあるか					
		1人	2～3人	4～5人	6人～	なし	計
1 ク ラ ス あ た り の 台 数	2～3台	4	11	1	0	0	16
	1台	4	32	7	2	0	44
	1台未満	2	12	13	9	0	36
	なし	0	0	0	0	4	4
	計	9	55	21	11	4	100

図表23 保育士が使用するスマホ・タブレット端末台数 (%)
(255園、問47・48)

		保育士何人につき1台のスマホ・タブレット端末があるか				
		1人	2～3人	4～5人	6人～	なし
1クラスあたりの台数	2～3台	3	5	2	0	0
	1台	4	29	12	2	0
	1台未満	3	8	7	10	0
	なし	0	0	0	0	15
	計	10	42	21	12	15
		計				
		10	42	21	12	15
		100				

図表24 保育士が使用するパソコン台数 × スマホ・タブレット端末台数 (%)
(255園、問44・47)

		1クラスあたりのスマホ・タブレット端末台数			
		2～3台	1台	1台未満	なし
1クラスあたりのパソコン台数	2～3台	4	7	3	2
	1台	4	25	8	7
	1台未満	2	13	16	4
	なし	0	1	1	2
	計	10	47	28	15
		計			
		10	47	28	15
		100			

ICT環境の現状

無線LAN（Wi-Fi）の導入率は97%に達しており、保育ICTシステムを導入している園の88%は、全てまたはほぼ全てのエリアで無線LANを利用可能な状態にある（図表25）。一方で、保育ICTシステム未導入の園では、1割強が無線LAN自体を導入していない。

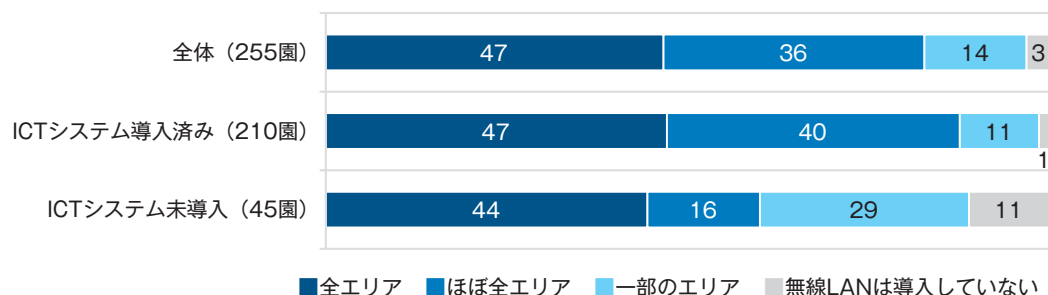
情報セキュリティ対策については、ウイルス対策ソフトの利用が主流である一方、ファイアウォール・UTMを導入している園は約4分の1にとどまっている（図表26）。

職員間の連絡方法では、LINEやLINE WORKS（ビジネス版LINE）が半数以上を占めているが、電話連絡を利用している園も3割近く存在する（図表27）。また、一部の園では、保育ICTシステムを活用して職員間の連絡を行っていた。

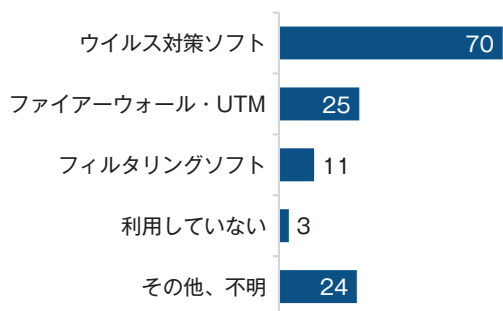
データ保存の手段としては、クラウド、サーバー、NASなどのネットワーク接続型の保存方式が全体の6割以上を占めている（図表28）。しかし、保育ICTシステム未導入の園ではUSBメモリを利用している割合が約5割に達し、クラウド利用率は10%未満に低下している。

園業務におけるチャットGPTなどの生成AIの活用率はわずか6%で、活用検討中の園も9%にとどまる（図表29）。

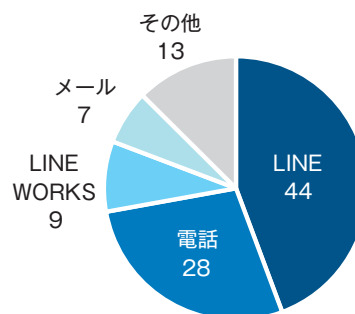
図表25 無線LAN使用可能エリア（%）
（255園、問4・50）



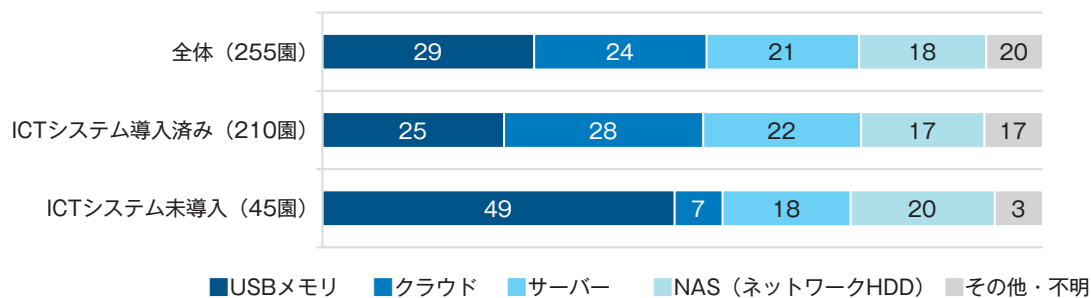
図表26 利用している情報セキュリティ製品・サービス (%)
(255園、複数回答、問53)



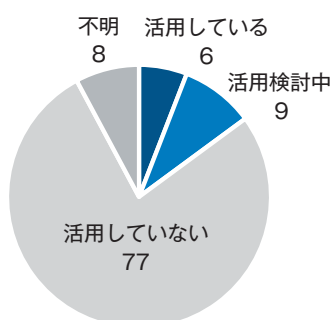
図表27 主な職員間の連絡方法 (%)
(255園、問54)



図表28 主なデータ保存方法 (%)
(255園、問4・55)



図表29 園業務での生成AI活用状況 (%)
(255園、問56)

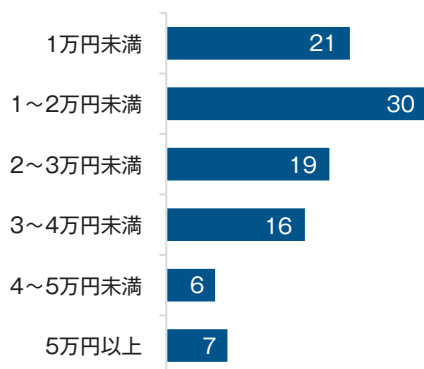


(3) ICT化のコスト

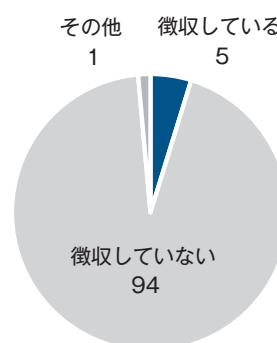
保育ICTシステムの利用料金

保育ICTシステムの利用料金は、月額 1 万円～2 万円未満の層が最も多い（図表30）。システムごとに料金体系は異なるものの、多くの場合、利用する機能の数に応じて料金が設定されており、機能を拡充するほどコストが増加する仕組みとなっている。また、保育ICTシステムを導入している園のうち、利用料金を保護者から徴収しているのはわずか 5 %にとどまっており、今後のICT化の進展に伴い、園側の負担がさらに増加することが予測される（図表31）。

図表30 保育ICTシステムの利用料金/月 (%)
(210園、問42)



図表31 保育ICTシステムの利用料金を保護者から徴収しているか (%)
(210園、問43)

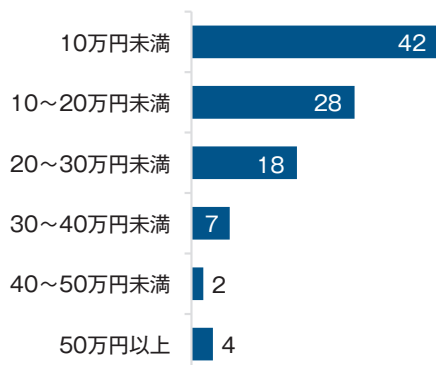


ICT機器のランニングコスト

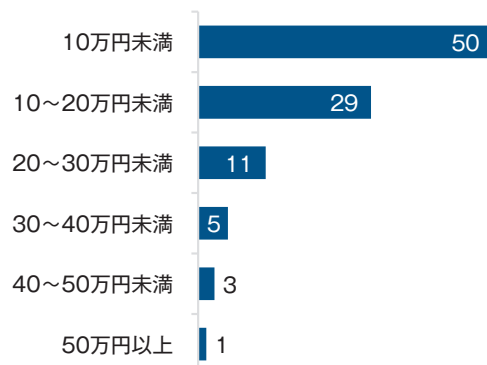
ICT機器には購入費用に加え、ランニングコストが発生する。パソコンやスマホ・タブレット端末のランニングコストは、いずれも「10万円未満」が最も多く、次いで「10万～20万円未満」が多い（図表32）。パソコンのランニングコストを整備状況別に見ると、1 クラス 1 台未満の場合は半数以上が「10万円未満」であるが、1 クラス 1 台になると「10万～20万円未満」が増加し、1 クラス 2 ～ 3 台では「20万～30万円未満」が最も多くなる。スマホ・タブレット端末では、1 クラス 1 台未満の場合は 7 割以上が「10万円未満」であり、1 クラス 1 台の場合でも 4 割以上が「10万円未満」で、1 クラス 2 ～ 3 台になると「10万～20万円未満」が最も多くなる。

図表32 ICT機器のランニングコスト（維持管理・買替費用）

パソコンのランニングコスト（%）
（245園、問46）



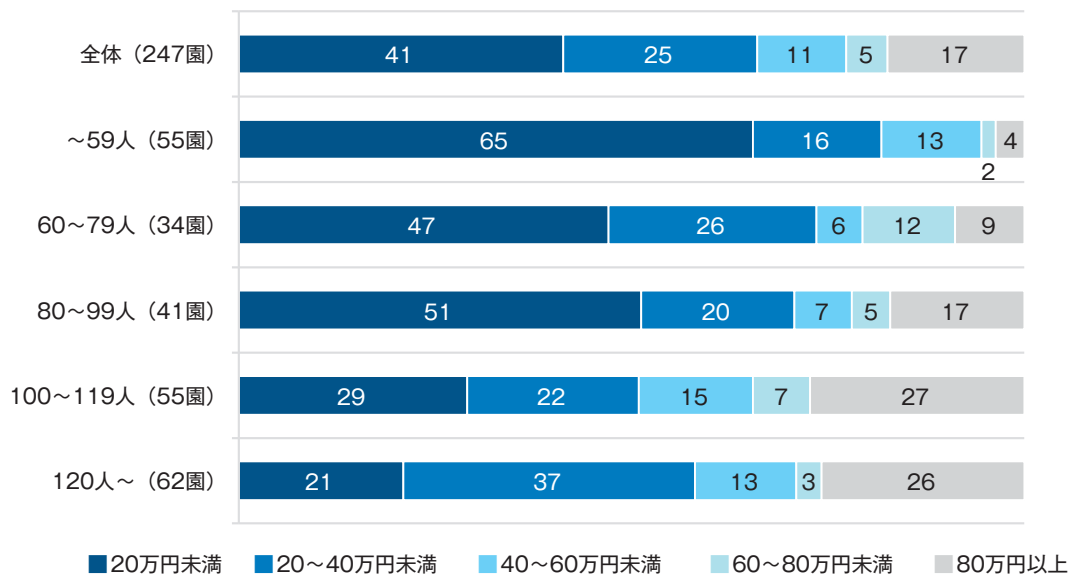
スマホ・タブレット端末のランニングコスト（%）
（218園、問49）



無線LAN（Wi-Fi）環境の整備費用

無線LAN環境の整備費用は累計で「20万円未満」が最も多い（図表33）。また、園の定員規模別に整備費用を比較すると、定員が増加するほど整備費用も高額になる傾向が見られる。これは、定員が増えることで園舎の建物が大きくなり、無線LANでカバーしなければならない面積が広がることが原因であると考えられる。

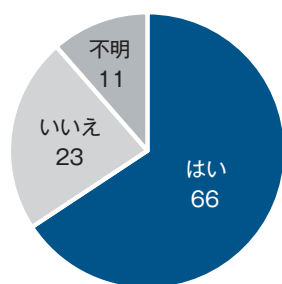
図表33 定員別の無線LAN環境の整備費用/累計（%）
（247園、問3・51）



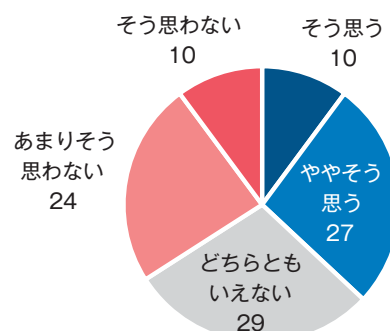
保育ICT補助金の利用状況

保育ICTシステム導入時に補助金を利用した割合は66%だった（図表34）。補助金を利用した園に対し、その金額が十分であったかを尋ねたところ、肯定的な回答（「思う」「やや思う」）が37%、否定的な回答（「そう思わない」「あまりそう思わない」）が34%と、意見が拮抗する結果となった（図表35）。一方で、補助金を利用しなかった割合は23%で、その理由としては「補助制度が始まる前に導入した」「タイミングが合わなかった」などが挙げられている（図表36）。

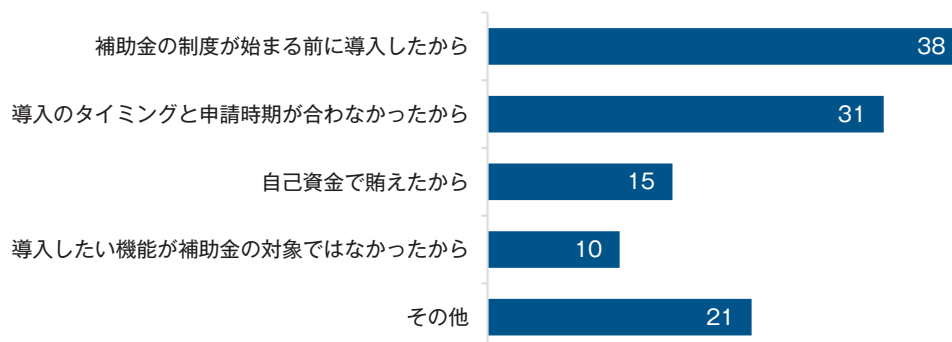
図表34 保育ICTシステム導入時に補助金を利用したか（%）
（210園、問6）



図表35 補助金額は十分だったか（%）
（138園、問7）



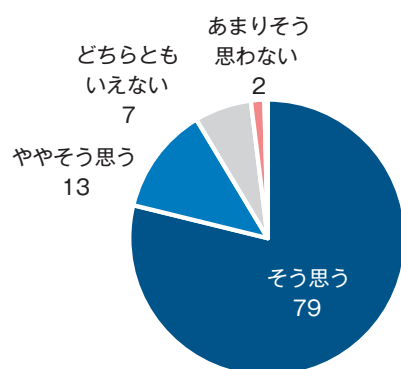
図表36 補助金を利用しなかった理由（%）
（48園、複数回答、問8）



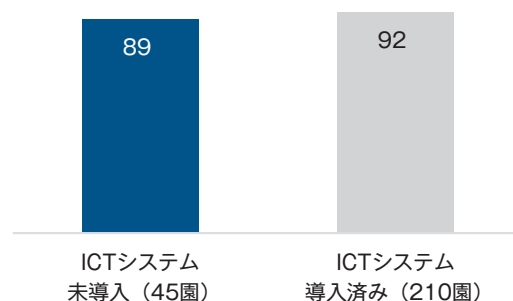
ランニングコストを対象とする補助金の必要性

既存の補助金とは別に、保育ICTシステムの利用料金などのランニングコストを支援する新たな補助金の必要性について問うた結果、全体の92%が肯定的な回答（「思う」「やや思う」）だった（図表37）。さらに、保育ICTシステムを未導入の園でも89%が新たな補助金の必要性に賛同しており、ランニングコストへの懸念が解消されれば、システムの導入に踏み切る園が増える可能性が高いと考えられる（図表38）。

図表37 ランニングコストを対象とする新たな補助金が必要か（%）
（255園、問52）



図表38 ランニングコストを対象とする新たな補助金への賛同割合（%）
（255園、問4・52）

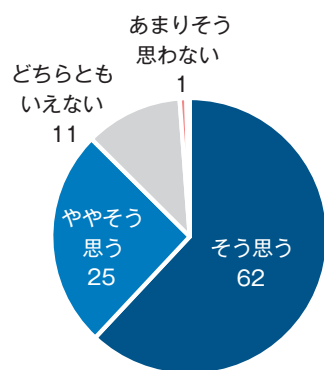


(4) 今後の展望

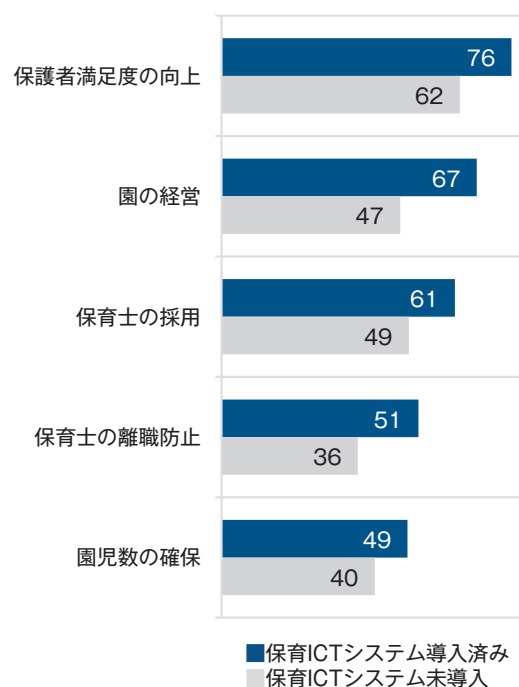
ICT化の重要性と影響

全体の87%の園が、ICT化を進めることを重要と考えている（図表39）。また、ICT化による影響について、保育ICTシステムの導入有無で分析した結果、導入済みの園は未導入の園に比べ、ICT化の影響をよりポジティブに評価していることが分かった（図表40）。特に「園の経営」への影響については、導入済み園の方が20ポイント高く評価しており、大きな差が見られた。また、未導入の園では、「保育士の離職防止」に寄与すると答えた割合が最も低く、36%にとどまった。この背景には、未導入園にパソコンなどICT機器に苦手意識を持つ職員が多いことも影響していると考えられる。

図表39 今後、ICT化を進めることは重要だと思うか（%）
（255園、問57）



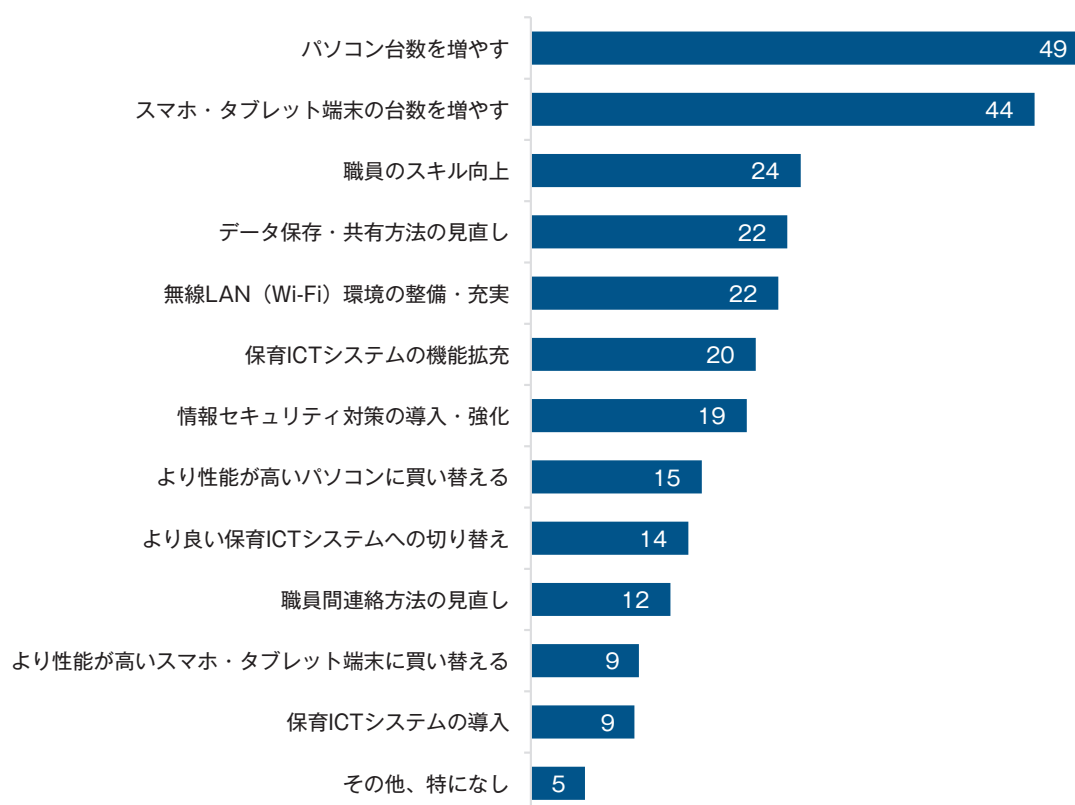
図表40 ICT化による影響について「良い影響」「やや良い影響」と答えた割合の合計（%）
（255園、問4・58）



ICT化を進める上での優先事項

ICT化を進める上で優先したいこととしては、パソコン、スマホ・タブレット端末の台数の増加が共に40%超となっており、ICT機器の充実が最優先課題となっている（図表41）。すでに1クラス2～3台を備えている層でも、ICT機器を充実させたいという回答が多かった。また、職員のスキル向上やデータ保存・共有方法の見直しも20%強が重視しており、ICT機器を活用するための人的または運用面の改善も関心を集めている。特に現在USBメモリを使用している層では、データ保存・共有方法の見直しをあげる割合が高かった。これらの結果から、ICT化を推進する上で、ハードウェアの充実と職員のスキル向上や運用改善をバランスよく進めていくことが課題になっているといえる。

図表41 ICT化を進める上で優先したいこと（%）
（255園、3つまで選択、問59）



□問13～14は、問14で「はい」(保護ICTシステムを導入していない)を選択した方のみ回答してください。

問13 保護ICTシステムを導入していない理由を教えてください。(あてはまるものをすべて選択)

(※近いうちに導入予定の場合は、それまで導入してこなかった理由を教えてください)

☐ システムの利用料金が安いから	☐ パソコンの台数が足りないから
☐ スマホ・タブレット端末の台数が足りないから	☐ 無線LAN(Wi-Fi)環境が不十分だから
☐ どのICTシステムを導入すればよいか分からないから	☐ 保育士がパソコン等の操作に苦手意識があるから
☐ 施設長や管理職が導入に消極的だから	☐ 保育士が導入に消極的だから
☐ 個人情報保護やセキュリティ面での不安があるから	☐ 保育の質が低下する不安があるから
☐ 業務効率化・負担軽減に役立つと思えないから	☐ 保護者の理解が得られないから
☐ その他 → ()	

問14 今後、保護ICTシステムを導入する予定はありますか。(1つ選択)

☐ 導入予定あり	☐ 導入検討中	☐ 導入予定なし
------------------------------	-----------------------------	------------------------------

→問13へ

3.登降園時間の打刻機能について

□問15～16は、問15で「はい」(登降園ICTシステムを導入していない)を選択した方のみ回答してください。

問15 登降園時間の打刻機能を利用していますか。(1つ選択)

☐ はい → 問17へ	☐ いいえ → 問16へ
---------------------------------	----------------------------------

□問16は、問15で「はい」(登降園ICTシステムを導入していない)を選択した方のみ回答してください。

問16 今後、登降園時間の打刻機能を利用する予定はありますか。(1つ選択)

☐ 利用予定あり	☐ 利用検討中	☐ 利用予定なし
------------------------------	-----------------------------	------------------------------

→問19へ

□問17～18は、問15で「はい」(登降園時間の打刻機能を利用している)を選択した方のみ回答してください。

問17 登降園の際の打刻方法を教えてください。(あてはまるものをすべて選択)

☐ 手動(タブレット等をタップ)	☐ QRコード/バーコード(紙に印刷)
☐ QRコード/バーコード(保護者のスマホに表示)	☐ カード(専用のICカード)
☐ カード(保護者の電子マネーカード等)	☐ カード(玄関ドアのカードキーと連動)
☐ その他 → ()	

問18 登降園時間の打刻機能の導入によるメリット・デメリットを教えてください。(それぞれ1つ選択)

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
当日の出欠人数の確認にかかる時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐
登降園時間の記録にかかる時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐
出席簿の作成にかかる時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐
延長保育・預かり保育の利用実績の確認・集計にかかる時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐
打刻に時間がかかり、登降園時に玄関が混雑する	☐	☐	☐	☐	☐
打刻時間について保護者とのトラブルが起きるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
打刻漏れの確認・修正に時間・手間がかかる	☐	☐	☐	☐	☐

4.欠席・遅刻の連絡機能について

問19 欠席・遅刻の連絡機能を利用していますか。(1つ選択)

☐ はい → 問21へ	☐ いいえ → 問20へ
---------------------------------	----------------------------------

□問20は、問19で「はい」(欠席・遅刻の連絡機能を利用していない)を選択した方のみ回答してください。

問20 今後、欠席・遅刻の連絡機能を利用する予定はありますか。(1つ選択)

☐ 利用予定あり	☐ 利用検討中	☐ 利用予定なし
------------------------------	-----------------------------	------------------------------

→問22

□問21は、問19で「はい」(欠席・遅刻の連絡機能を利用している)を選択した方のみ回答してください。

問21 欠席・遅刻の連絡機能の導入によるメリット・デメリットを教えてください。(それぞれ1つ選択)

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
電話対応にかかる時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐
開園時間外でも欠席・遅刻の連絡が受けられるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
欠席・遅刻の連絡と職員間で共有する時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐
聞き間違え・伝達ミスが減った	☐	☐	☐	☐	☐
保護者とのコミュニケーションが減った	☐	☐	☐	☐	☐
欠席の詳細な理由が把握しにくくなった	☐	☐	☐	☐	☐

5.保護者向け配信機能について

(※おたより、緊急連絡、ドキュメンテーションなどの配信機能)

(※連絡機能は含まない)

問22 保護者向け配信機能を利用していますか。(1つ選択)

☐ はい → 問24へ	☐ いいえ → 問23へ
---------------------------------	----------------------------------

□問23は、問22で「はい」(保護者向け配信機能を利用している)を選択した方のみ回答してください。

問23 今後、保護者向け配信機能を利用する予定はありますか。(1つ選択)

☐ 利用予定あり	☐ 利用検討中	☐ 利用予定なし
------------------------------	-----------------------------	------------------------------

→問26へ

□問24～25は、問22で「はい」(保護者向け配信機能を利用している)を選択した方のみ回答してください。

問24 おたよりの主な配布・配信方法を教えてください。(1つ選択)

☐ 紙のみ	☐ データ配信のみ	☐ 紙とデータ配信の両方
☐ その他 → ()		

問25 保護者向け配信機能の導入によるメリット・デメリットを教えてください。(それぞれ1つ選択)

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
保護者に電話以外の手段で連絡できるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
過去に配信したデータを保管・検索・閲覧できるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
写真・動画の添付により伝えられる情報が増えた	☐	☐	☐	☐	☐
配信作業が負担になっている	☐	☐	☐	☐	☐
既読・未読の確認が必要になった	☐	☐	☐	☐	☐

6.連絡帳機能について

(※保育料などの請求業務の管理機能)

問26 連絡帳機能を利用していますか。(1つ選択)

☐ はい → 問28へ ☐ いいえ → 問27へ

□問27は、問26で「はい」を選択した方のみ回答してください。

問27 今後、連絡帳機能を利用する予定はありますか。(1つ選択)

☐ 利用予定あり ☐ 利用検討中 ☐ 利用予定なし
→問29へ

□問28は、問26で「はい」(連絡帳機能を利用している)を選択した方のみ回答してください。

問28 連絡帳機能の導入によるメリット・デメリットを教えてください。(それぞれ1つ選択)

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
連絡帳の受け渡しにかかる時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐
時間や場所を選ばずに記入・確認ができるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
連絡帳の内容を職員間で共有する時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐
転記作業(検通・午睡・排便・食事など)にかかる時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐
写真などの添付により伝えられる情報が増えた	☐	☐	☐	☐	☐
端末数が多くなると複数人で同時に作業ができなかった	☐	☐	☐	☐	☐
作業する端末をそろえるのに多くの費用がかかった	☐	☐	☐	☐	☐
手書きの速かみを感じ保護者がいる	☐	☐	☐	☐	☐

7.保育日誌・指導計画の作成・管理機能について

問29 保育日誌・指導計画の作成・管理機能を利用していますか。(1つ選択)

☐ はい → 問31へ ☐ いいえ → 問30へ

□問30は、問29で「はい」を選択した方のみ回答してください。

問30 今後、保育日誌・指導計画の作成・管理機能を利用する予定はありますか。(1つ選択)

☐ 利用予定あり ☐ 利用検討中 ☐ 利用予定なし
→問32へ

□問31は、問29で「はい」(保育日誌・指導計画の作成・管理機能を利用している)を選択した方のみ回答してください。

問31 保育日誌・指導計画の作成・管理機能の導入によるメリット・デメリットを教えてください。(それぞれ1つ選択)

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
書類の作成にかかる時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐
システム上でスムーズに書類の確認ができるようになった	☐	☐	☐	☐	☐
記録の振り返りをする機会が増えた	☐	☐	☐	☐	☐
記録の内容がより充実したものになった	☐	☐	☐	☐	☐
システムの形式に慣れるまでに時間がかかった	☐	☐	☐	☐	☐
システムの形式が使いづらい	☐	☐	☐	☐	☐

8.請求管理機能について

(※保育料などの請求業務の管理機能)

問32 請求管理機能を利用していますか。(1つ選択)

☐ はい → 問34へ ☐ いいえ → 問33へ

□問33は、問32で「はい」を選択した方のみ回答してください。

問33 今後、請求管理機能を利用する予定はありますか。(1つ選択)

☐ 利用予定あり ☐ 利用検討中 ☐ 利用予定なし
→問35へ

□問34は、問32で「はい」(請求管理機能を利用している)を選択した方のみ回答してください。

問34 請求管理機能の導入によるメリットを教えてください。(それぞれ1つ選択)

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
保育料などの計算にかかる時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐
計算ミスによる請求額が減った	☐	☐	☐	☐	☐
紙の領収書等を発行・配布する時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐
補助金申請にかかる時間・時間が減った	☐	☐	☐	☐	☐

9.その他の機能について

問35 その他に利用している機能を教えてください。(あてはまるものをすべて選択)

☐ 児童票の作成	☐ 児童保育記録の作成	☐ 成長経過記録
☐ 職員のシフト作成	☐ 職員の勤務管理	☐ アンケート
☐ 行事予定(カレンダー)	☐ 午睡チェック	☐ 写真販売
☐ 献立の作成	☐ 献立の配信	☐ バス運行管理
☐ 園内連絡	☐ キャンシユレス基金	☐ 他に利用している機能はない
☐ その他 →	(	)

10.保育ICTシステムの導入による効果について

問36 保育ICTシステムの導入による効果を教えてください。(それぞれ1つ選択)

効果	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
保育士が休憩時間を取りやすくなった	☐	☐	☐	☐	☐
保育士が休憩を取りやすくなった	☐	☐	☐	☐	☐
保育士の残業や持ち帰り仕事が減った	☐	☐	☐	☐	☐
保育士がノンコンタクトタイム(休憩以外で子どもから離れて各種業務を行う時間)を取りやすくなった	☐	☐	☐	☐	☐
保育士が子どもとの関わりに集中しやすくなった	☐	☐	☐	☐	☐
保育の質が高まった	☐	☐	☐	☐	☐
職員間の情報共有や連携がスムーズになった	☐	☐	☐	☐	☐
園と保護者の間の情報共有がスムーズになった	☐	☐	☐	☐	☐
ペーパーレス化や業務代の減少によりコストを削減できた	☐	☐	☐	☐	☐

問37 現在利用している機能の中で業務効率化、負担軽減に**役立っている**と思われる機能を教えてください。(最大3つまで選択)

☐ 登壇時間の打刻	☐ 欠席・遅刻の連絡	☐ 保護者向け配信
☐ 連絡帳	☐ 保育日誌・指導計画の作成	☐ 請求管理
☐ 児童票の作成	☐ 児童保育要録の作成	☐ 成長経過記録
☐ 職員シフト作成	☐ 職員の勤怠管理	☐ アンケート
☐ 行事予定(カレンダー)	☐ 午睡チェック	☐ 写真販売
☐ 献立の作成	☐ 献立の配信	☐ バス運行管理
☐ 園内連絡	☐ キャッシュレス集金	☐ 役立っている機能はない
☐ その他 → ()		

問38 現在利用している機能の中で業務効率化、負担軽減に**役立っていない**と思われる機能を教えてください。(最大3つまで選択)

☐ 登壇時間の打刻	☐ 欠席・遅刻の連絡	☐ 保護者向け配信
☐ 連絡帳	☐ 保育日誌・指導計画の作成	☐ 請求管理
☐ 児童票の作成	☐ 児童保育要録の作成	☐ 成長経過記録
☐ 職員シフト作成	☐ 職員の勤怠管理	☐ アンケート
☐ 行事予定(カレンダー)	☐ 午睡チェック	☐ 写真販売
☐ 献立の作成	☐ 献立の配信	☐ バス運行管理
☐ 園内連絡	☐ キャッシュレス集金	☐ 役立っていない機能はない
☐ その他 → ()		

問39 保育ICTシステムで特に良いと思うところや、メリットと感じる点があれば教えてください。(任意)

問40 保育ICTシステムについて不満なところや、デメリットと感じる点があれば教えてください。(任意)

問41 メインで利用している保育ICTシステムを教えてください。(1つ選択)

☐ キッズノート(有限会社デンポ)	☐ コドモン(株式会社コトモン)
☐ キッズリーダー(ユニファ株式会社)	☐ ルクミー(ユニファ株式会社)
☐ キッズビュー(日本ソフト開発株式会社)	☐ 桜システム/ろぶくくら(株式会社エステム)
☐ ハグモ- (hug Lab株式会社/株式会社Gakken)	☐ ウェルキッズ(株式会社ウェルキッズ)
☐ はいチーアシステム(保育ICT株式会社)	☐ キッズタイアリー(キッズコネクト株式会社)
☐ 保育士ハンズワイク(株式会社ネクスポート)	☐ パピーナ(株式会社チャイルド社)
☐ その他 → ()	

11. 保育ICTシステムの利用料金について

問42 保育ICTシステムの1ヶ月あたりの利用料金を教えてください。(1つ選択)

(※初期設定費用は含まない)

(※補助金を利用している場合は、補助金がかかった場合の負担額)

(※買い切り型のシステムの場合は1ヶ月あたりの保守料金など)

(※複数のシステムを利用している場合は合算した金額)

☐ 1万円未満	☐ 1万円～2万円未満	☐ 2万円～3万円未満
☐ 3万円～4万円未満	☐ 4万円～5万円未満	☐ 5万円～6万円未満
☐ 6万円～7万円未満	☐ 7万円～8万円未満	☐ 8万円～9万円未満
☐ 9万円～10万円未満	☐ 10万円以上	

問43 保育ICTシステムの利用料金を保護者から徴収していますか？(1つ選択)

☐ はい	☐ いいえ	☐ その他 → ()
-----------------------------	------------------------------	------------------------------------

12. ICT機器・環境とその費用について

問44 保育士が使用するパソコンの整備状況(1クラスに何台か)を教えてください。(1つ選択)

☐ 1クラスに1台未満	☐ 1クラスに1台	☐ 1クラスに2～3台
☐ 1クラスに4～5台	☐ 1クラスに6～7台	☐ 1クラスに8～9台
☐ 1クラスに10台以上	☐ パソコンはない	→ 問47へ

問45 保育士が使用するパソコンの整備状況(保育士何人に1台か)を教えてください。(1つ選択)

☐ 1人に1台	☐ 2～3人に1台	☐ 4～5人に1台	☐ 6～7人に1台
☐ 8～9人に1台	☐ 10～14人に1台	☐ 15～19人に1台	☐ 20人以上に1台

問46 保育士が使用するパソコンの**年間**のランニングコスト(維持管理・買替費用)を教えてください。(1つ選択)

(※リース、レンタル料などを含む)

(※数年ごとにとまとめて買い替えている場合は、1年あたりにならした金額)

☐ 10万円未満	☐ 10万円～20万円未満	☐ 20万円～30万円未満
☐ 30万円～40万円未満	☐ 40万円～50万円未満	☐ 50万円～60万円未満
☐ 60万円～70万円未満	☐ 70万円～80万円未満	☐ 80万円～90万円未満
☐ 90万円～100万円未満	☐ 100万円以上	

問47 保育士が使用するスマホ・タブレット端末の整備状況(1クラスに何台か)を教えてください。(1つ選択)

☐ 1クラスに1台未満	☐ 1クラスに1台	☐ 1クラスに2～3台
☐ 1クラスに4～5台	☐ 1クラスに6～7台	☐ 1クラスに8～9台
☐ 1クラスに10台以上	☐ スマホ・タブレット端末はない	→ 問50へ

問48 保育士が使用するスマホ・タブレット端末の整備状況(保育士何人に1台か)を教えてください。(1つ選択)

☐ 1人に1台	☐ 2～3人に1台	☐ 4～5人に1台	☐ 6～7人に1台
☐ 8～9人に1台	☐ 10～14人に1台	☐ 15～19人に1台	☐ 20人以上に1台

問49 保育士が使用するスマホ・タブレット端末の**年間**のランニングコスト(維持管理・買替費用)を教えてください。(1つ選択)

(※リース、レンタル料などを含む)

(※数年ごとにとまとめて買い替えている場合は、1年あたりにならした金額)

☐ 10万円未満	☐ 10万円～20万円未満	☐ 20万円～30万円未満
☐ 30万円～40万円未満	☐ 40万円～50万円未満	☐ 50万円～60万円未満
☐ 60万円～70万円未満	☐ 70万円～80万円未満	☐ 80万円～90万円未満
☐ 90万円～100万円未満	☐ 100万円以上	

問50 無線LAN(Wi-Fi)の使用可能エリアを教えてください。(1つ選択)

☐ 全てのエリアで使用可能	☐ ほぼ全てのエリアで使用可能
☐ 一部のエリアのみで使用可能	☐ 無線LAN(Wi-Fi)は導入していない → 問52へ

調 査 研 究 部 員

担当理事	水岡 路代（豊平区）
部 長	山本 大輔（手稲区）
副 部 長	相良 郁子（厚別区）
	東 秀明（中央区）
	木村 貴裕（北 区）
	竹田かおる（北 区）
	細谷 恵（東 区）
	若生 知子（東 区）
	高橋 朋子（白石区）
	大熊 ミキ（厚別区）
	犬伏 紀子（豊平区）
	平沼 祐一（清田区）
	長浜 裕樹（南 区）
	流田 志葉（西 区）
	角谷 瑞絵（手稲区）
	中居 公佑（青年会議）

保育園・認定こども園のICT化に関する 調査報告書

発行 令和7年3月1日

一般社団法人 札幌市私立保育連盟 調査研究部
〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目
札幌市社会福祉総合センター内 TEL 011-614-2323